

資料編

1. 地域の声（アンケート及びヒアリング調査）……P.18

- (1) 校区社協における福祉活動に関する調査結果 ……P.18
- (2) 地域と社会福祉施設・社会福祉関係事業者との協働に関する調査結果 ……P.45
- (3) 地域と社会福祉関係当事者団体との協働に関する調査結果 ……P.49

2. 策定委員会設置及び運営要綱……………P.51

3. 策定委員会委員名簿……………P.53

4. 策定プロジェクトメンバー名簿……………P.54

5. 策定の経過……………P.55

6. 市内各校区の状況……………P.58



校区社協における福祉活動に関する調査結果

(校区社協関係者)

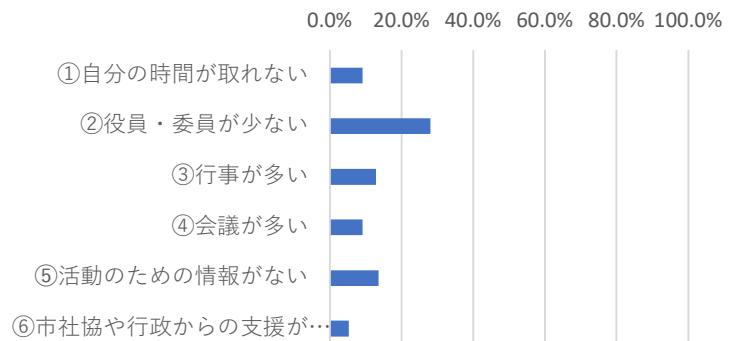
回答数132名

1. ご自身の活動について

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

①自分の時間が取れない	12
②役員・委員が少ない	37
③行事が多い	17
④会議が多い	12
⑤活動のための情報がない	18
⑥市社協や行政からの支援がない	7

(1)活動してみて困っている(問題だと感じる)ことは？全校区



(その他のコメント)※抜粋、集約

- ・同じ人が多くの役を持っていて多忙
- ・新しい人材・スタッフ、対象者が増えない
- ・社協委員を引き受けたが名前だけで良い、と思っている人が複数いる
- ・ボランティアの高齢化
- ・毎年役員が変わること
- ・無駄な話し合いに時間を使いすぎている。
- ・役職の役割が不明確で業務に偏りがある
- ・私が30歳ごろと違い市民がなかなか協力をしない。自治会を脱退する人が多い
- ・若手の参加が少なく後継者育成が必要
- ・コロナ禍、以前の活動ができないのが残念
- ・コロナ禍で整理されつつあるが、他機関との連携の仕方、(日程が重なり合う)行事、内容が似通って時の調整
- ・ウイズコロナの活動・伝達にオンラインの活動を検討してほしい
- ・これからどれだけコロナが続きふれあいの場が制限されるか
- ・自身の高齢化の不安
- ・人前に出るのが苦手
- ・普段の活動に仕事のために参加できないのが悪いと思うが、何でも決まった人たちだけでことが進んでいるように思う。
- ・家業と兼用で時間の調整が難しい
- ・市の福祉政策が社会情勢上の問題にどう対応していこうとしているのか見えてこない
- ・社協の活動範囲が把握できない
- ・社協や行政の人間が自治会に入会していない
- ・募金活動の回数が多い
- ・相手に喜んでもらえる芸を持ち合わせていない(話術等含む)
- ・何をしてもよいのかなやることがわかりません。
- ・自治会退会者が多い35~40%
- ・自治会役員を兼ねているので時間がとりにくい
- ・他校区社協との交流(情報交換)
- ・標準化(要領等)文書がない、持続性
- ・コロナ禍の折、活動の場、行事が少なかったことにより問題点はそれほど感じなかった。
- ・困るほどやっていないのであげられない
- ・自由に使える財源がないこと

(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

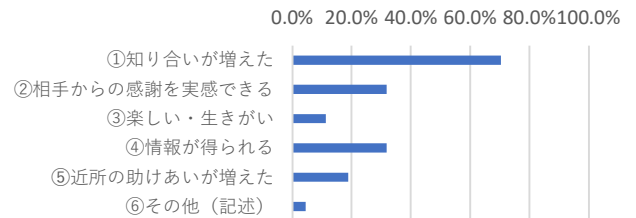
①知り合いが増えた	93
②相手からの感謝を実感できる	42
③楽しい・生きがい	15
④情報が得られる	42
⑤近所の助けあいが増えた	25

(その他コメント)

- ・活動場所が容易に確保できず役立っているとは感じられない
- ・幹事の皆さんよくやっておられるので頭が下がります。
- ・地域のつながりを実感できる
- ・ハンディキャップをお持ちの方の行事等を増やしてほしい
- ・人の触れ合いによって社協は成り立つと思っています。
- ・福祉に係る学びの体験を積む機会に恵まれる

(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)

と感じることは：全校区



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

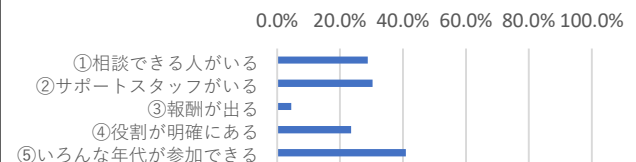
①相談できる人がいる	38
②サポートスタッフがいる	40
③報酬が出る	6
④役割が明確にある	31
⑤いろんな年代が参加できる	54

(その他コメント)

- ・敬老会
- ・新しいアイデア・知識を吸収する手立て
- ・委員間の役割認めあいが大事
- ・動機づけ
- ・いろんな年代で福祉活動ができるように。特に若い人
- ・活動するにあたり、意見交換ができる人がいるといい
- ・思考力、労働力を期待したい
- ・新規役員が少ない、なる人がいない
- ・ベテランさんと若い方バランスよく参加できるように
- ・自治会との連携を密にほしい
- ・やる気のある人に施す気持ちの人が多く集まること
- ・活動の目標が明確であること
- ・年代や年齢別で趣味興味を知る、参加者を増やすこと
- ・組織をサポートする組織づくりや個人の育成が必要
- ・情報共有できて、いろんな意見も出し合えること
- ・デジタル化できる活動や作業のIT化を図る
- ・本部(市社協)からの人の応援をほしい
- ・なんでも先に決まっているのではなく幹事みんなで話し合いができるようにしてほしい
- ・負担をかけない、責任を取らせない、ボランティア活動に評価が得られる、皆で協力して仲がよく、目標がはっきりしている。
- ・幼少時からボランティア活動に積極的に参加する
- ・若い人の委員が少なく行動力が弱いように感じる。
- ・わかりません。

(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

全校区



2. 校区社協活動やボランティア活動について

(1) 現在の事業や活動の中で今後も必要なものは(抜粋)

(事業)

- ・敬老会
- ・配食事業
- ・広報活動
- ・左義長・避難訓練
- ・敬老会対策(高齢者の増加の中で今後あり方が問題)
- ・神社の奉仕活動
- ・見守り活動
- ・高齢者の在宅支援、子育て支援
- ・健康料理のつどい
- ・ふれあいサロン
- ・拠点事務所、コミセン優先権
- ・幅広い世代に対する支援
- ・人とのふれあいの場
- ・アイデアなどの情報
- ・みんなが気軽に集まれる場所が必要
- ・現在実施している事業はすべて必要だと思います。
- ・老人が生きがいを感じる活動
- ・社協活動のPR(ニュースやチラシ、掲示板で知ってもらい関心を持ってもらう)

(その他)

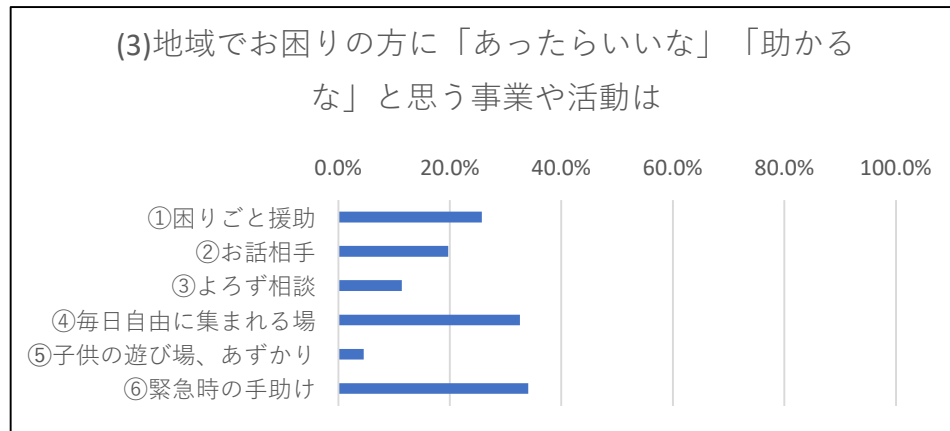
- ・若い人の参加、新しいメンバー
- ・人材の育成、後継者の育成
- ・今までの活動を見直し、役員皆さんと一緒に楽しむこと
- ・いろんなことが相談できる人
- ・概ねすべての事業、活動
- ・介護や福祉に対する地域からの情報発信
- ・活動の拡大や継続をするときは経費が必要となる
- ・幹事の間関係。みんなが参加、みんなが主役をどう作っていくか
- ・共感力
- ・福祉委員同士のやる気と心意気
- ・福祉活動において、まず一人ひとりの自覚が大切かと思っています。
- ・自治会に入っていない方、個人情報への壁があり、連絡が取りにくい。取れる方法は。
- ・コロナでの中断を契機にゼロベースで見直し
- ・コロナの終息を期待し、活動の場が広がること

(2) 現在の事業や活動の中で今後は縮小・廃止してもよいと思うことは

- ・縮小、廃止は考えない
- ・ありません
- ・今ぐらいで良い
- ・同じこと。例えば訪問活動が他団体とダブっている
- ・区民運動会(少子化が進んでいる)
- ・敬老会。形式を変えて
- ・健康料理のつどいは廃止してもよいと思う(食事を介する行事)
- ・左義長
- ・バザー(縮小)、内容の充実、見直し
- ・相談事業(できても話し相手になる程度)
- ・自治会の在り方が変化し、たよっていたら負担になりそう。(敬老会は実施したいが、自治会の参加があれば)
- ・平日研修会があるが、仕事をしている人は参加できない。
- ・募金活動。年4回は多い
- ・全体で何かをする行事
- ・現在コロナ禍で活動も少ないので現状維持でよい
- ・コロナでの中断を契機にゼロベースで見直し
- ・コロナのため、十分な活動ができていないのが残念

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は 全体

①困りごと援助	34
②お話相手	26
③よろず相談	15
④毎日自由に集まれる場	43
⑤子供の遊び場、あずかり	6
⑥緊急時の手助け	45



(その他コメント)

- ・自由に集まれる場。毎日でなくても週1回ぐらい集まれば
- ・お助け隊
- ・会議などはコミセン利用で十分と思うが、④の集まる場を考えると拠点も必要かな…
- ・買い物支援
- ・近所にいながら亡くなられた方が分からない
- ・ゴミ出し、足のかわりになるバス・タクシーなど気軽にのれるもの
- ・校区内でレク活動の推進を活発に。老人クラブに入っていないなくてもレクリエーション用のバスを利用できるようにしてください。
- ・仕組みや足(移動手段)が必要か
- ・事務所を活用できる場に
- ・センター、買い物支援
- ・地域により近くに集まれる場所がない
- ・通院や買い物の移動手段の手助け
- ・年々自治会脱会者が増えている。
- ・ひみつの広場
- ・店が遠い。バスがないので平和堂へ行けない。
- ・ラジオ体操など気軽に集えること、場所
- ・老人+子供の親とかの集まれる場

(その他の活動団体等)

- ・ヘルスメイト城陽
- ・全日本年金者組合城陽支部
- ・ボランティア委員会
- ・自分自身のグループで
- ・青空健康体操
- ・老若男女夢を語ろう

「校区社協における福祉活動に関する調査結果」(校区社協会長)

1. 活動全般について

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

①自分の時間がとれない	23.1%
②人手が足りない	0.0%
③役員・委員のなり手が少ない	61.5%
④行事が多い	7.7%
⑤活動のための会議が多い	30.8%
⑥活動のための情報がない	23.1%
⑦市社協や行政からの支援がない	15.4%
⑧その他(自由記述)	あたらしい人材の参加が少ない 実働の委員が少ない。回数より時間が長い。 一部の役員とのコミュニケーションがうまくいかない、自分自身が積極的にしていないことも一因であるが…

(2) コロナ禍を経験する中で、今後も残したい事業は何ですか

事業名	理由
コーヒーサロン、ゴミ出し支援	
敬老会	社協としては最大の事業であり、高齢者の中でも最も認知されたものである
読書会	人がいる中での一人で好きな本を。孤独を感じなく読んでいられる。
市高連「歩こう会」「輪投げ大会」	
役員懇親会	役員さん同士のコミュニケーションが大事だと思うから
おでかけ事業	高齢化が進み近隣へお出かけする機会が無くなった方々をお連れしたい
次年度はぜひとも敬老会、健康料理	コロナにより3年間できておらず、地域の人に喜んでもらいたい
健康体操	超高齢化社会において運動習慣を身に着け健康寿命を延ばすことにつながると思われる
ふれあい食事会	年6回やっており、毎回70人近い方がきて、150食近い弁当をつくり、最もやりがいのある事業だから
ふれあいサロン・料理試食会、左義長	住民の皆さまとふれあえる場が大事だと思う。左義長は竹切り、穴掘りと男手が必要なのでこれからは困難

(3) 代替事業として実施して良かった事業

事業名	理由
福祉農園	屋外活動でコロナの影響が少ない。健康的にもよい
プランターファーム見守りプロジェクト	となり近所のつながりの再構築(コロナ禍での)他市事例の紹介がきっかけとなった。高齢化に伴い、自宅周りの時間が増えることを活かした
貸出事業、拠点図書の実施	中止で終わるのは活動無しと同じなので、何かできないかと考えて
敬老会	敬老会記念品の手渡し配布と長寿者、米寿者の集い ①敬老祝い品を対象者に配布(訪問)、フレイル予防講座、体操、保健センターから保健師による講座、体操。一人暮らしで寂しい思いをしておられる高齢者に楽しみを与えて元気づけをしてあげたい
対象者全員に赤飯、ぜんざいを配った	敬老会の対象者にお祝いの品として赤飯を、また高齢者にはぜんざいが喜ばれるのではと考えた
従来事業で集会でなく個人伺い	あまりにも事業ができなかったのこちらから訪問し、声をかけるならと思った
対象者全員に赤飯、ぜんざいを配った	
敬老会記念品の手渡し配布と長寿者、米寿者の集い	
ふれあいサロン	
何回かの訪問事業	

(4) その代替事業を検討した理由(想い)はどのようなものでしたか

- ・屋外活動でコロナの影響が少ない。健康的にもよい
- ・委員が考えて活動したのであり、三方よしかなと思う
- ・中止で終わるのは活動無しと同じなので、何かできないかと考えて
- ・敬老会の対象者にお祝いの品として赤飯を、また高齢者にはぜんざいが喜ばれるのではと考えた
- ・となり近所のつながりの再構築(コロナかでの)市社協より他例の紹介がきかけとなった。高齢化に伴い、自宅周りの時間が増えること
- ・敬老祝い品を対象者に配布(訪問)、フレイル予防講座、体操、保健センターから保健師による講座、体操。一人暮らしで寂しい想いをしておられる高齢者に楽しみを与えて元気づけをしてあげたい
- ・あまりにも事業ができなかったのこちらから訪問し、声をかけるならと思った

(5) どういう支えがあれば、事業(行事)の実施がしやすいと感じますか

①人員の支援	23.1%
②金銭的な支援	0.0%
③書類の簡素化	15.4%
④計画作成の支援	15.4%
⑤道具や資料の保管場所の確保	23.1%
⑥会議の運営・進行	0.0%
⑦その他(自由)	<ul style="list-style-type: none"> ・人手が大事。拠点がないと動きにくい。 ・4役が一丸となって強力に事業を推進していく。このためには会長の強いリーダーシップが求められる。今の自分自身よりさらに一段上を目指して何事にも努力すること。これに尽きると思える

2. 組織運営全般について

(1) 運営のする中で困っている(問題だと感じる)ことは

①自分の時間がとれない	7.7%
②役員・委員が少ない	7.7%
②人手が足りない	7.7%
③役員・委員のなり手が少ない	30.8%
④行事が多い	0.0%
⑤活動のための会議が多い	0.0%
⑥活動のための情報がない	7.7%
⑦市社協や行政からの支援がない	0.0%
⑧その他	令和5年度から心配

(2) 組織の運営方法で悩まれている(悩まれた)ことはありましたか

- ・事務局が欲しい
- ・人間関係(特に女性の)
- ・高齢者音増加と中間層の活動者が少ないのでマンネリ化
- ・会員の元気がコロナにより減少し、対話が少なくなり、友愛活動ができなかった。
- ・以前の活動を変える場合以前運営していた方等からの抵抗が大きかった
- ・コロナ対応で以前と同じようにできない
- ・他部への協力が薄い
- ・経験豊富な方が多く、いろいろと参考意見を言っただけの良いが、最終的にまとめるのが難しいことが多々ある
- ・規約の制約や個人的人生観から、自分の範囲外のことに対し協力しない傾向が見られる
- ・役員のうち、一部の役員の扱いに困るときがある。(時々)役員としての心構え、自覚が不足していると思える。
- ・会議での意見が少なく、それでいいのかという思いと、少しの意見で対立してしまうことも。

(3) 組織の連絡や会議の持ち方での工夫

- ・スマホのLINEで連絡網(幹事用、役員用、農園用)を作成し、事務連絡がスムーズにできるようになった
- ・月1回合同委員会でできるだけ話せるように、現在大勢すぎるかも
- ・ひなたぼっこの利用で十分なスペースが保てた
- ・四役はLINEを活用した
- ・LINEの活用
- ・役員グループLINEで報連相は行っている
- ・SNSの活用、LINEで連携して情報の共有化を図っている
- ・会議の定例化・情報の共有化、役員(幹事)ひとりひとりが発言の機会を持つようにする
- ・会議を通じて、人の想いを十分に聞くように努めたつもりだが、まだ完全とは言えない
- ・あまりだらだらしない

(4) 組織の継続のために役員選出における工夫

- ・福祉委員協力者(支援者)を増やす
- ・できるだけ若い人、自治会福祉委員等から協力的な人を考えるがなかなか難しい
- ・環境は十分とどめているのに(1)の問題
- ・抱き合わせ的な役員色が多く会議招集も多くなり負担となる
- ・会長補佐を複数人。任期をもうけ必ず交代する
- ・会議の内容やイベントの出席について知ってもらうこと
- ・校区10地区の中から幹事を構成することが望ましい。健康体操などで地区ごとで中心的役割の人材育成の機会
- ・①協調性②おだやかな心を持つ③人付き合いを大切にする。以上の資質を持つ人
- ・自治会選出という形にはしているが、人材が令和5年度には難しくなるかも。コロナ禍での停滞の影響も

(5) どのような支えがあれば、より運営がしやすくなると感じますか

①人員の支援	15.4%
②金銭的な支援	0.0%
③書類の簡素化	15.4%
④計画作成の支援	7.7%
⑤道具や資料の保管場所の確保	23.1%
⑥会議の運営・進行	7.7%
⑦その他(自由)	・本来イベントをたくさんしていたので、演奏、体操、マジック、いろいろな方を楽しませてもらえる団体や会社等の情報を紹介してほしい

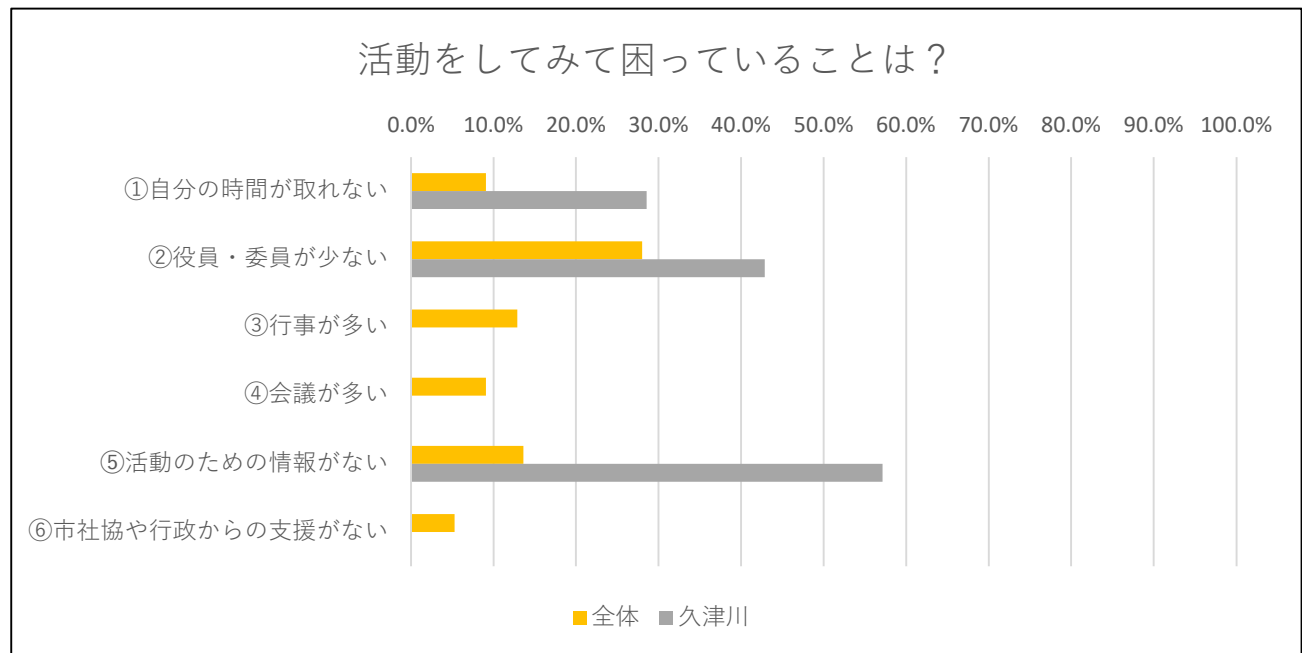
校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

	全体	久津川
(回答者数)	132	7

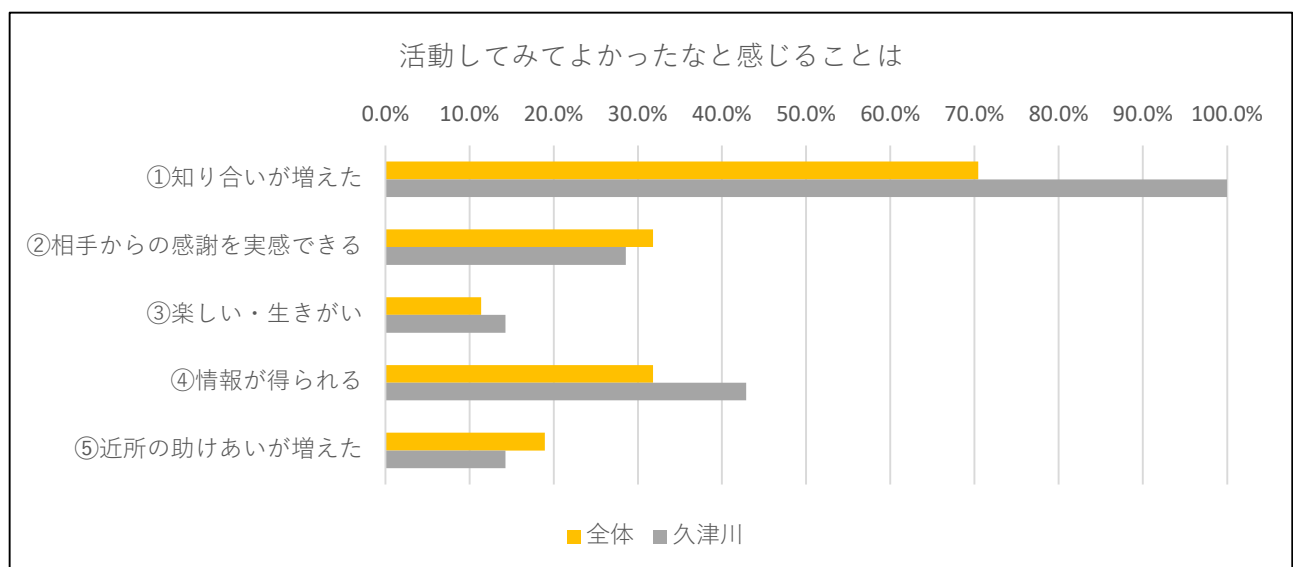
(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

	全体		久津川	
①自分の時間が取れない	12	9.1%	2	28.6%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	3	42.9%
③行事が多い	17	12.9%	0	0.0%
④会議が多い	12	9.1%	0	0.0%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	4	57.1%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	0	0.0%



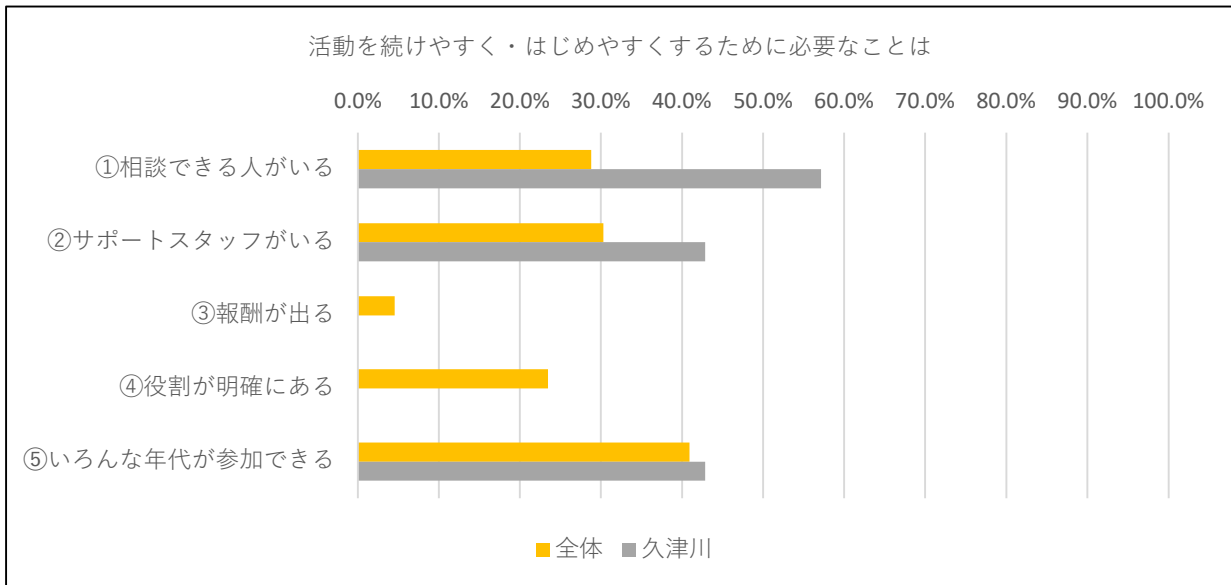
(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

	全体		久津川	
①知り合いが増えた	93	70.5%	7	100.0%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	2	28.6%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	1	14.3%
④情報が得られる	42	31.8%	3	42.9%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	1	14.3%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

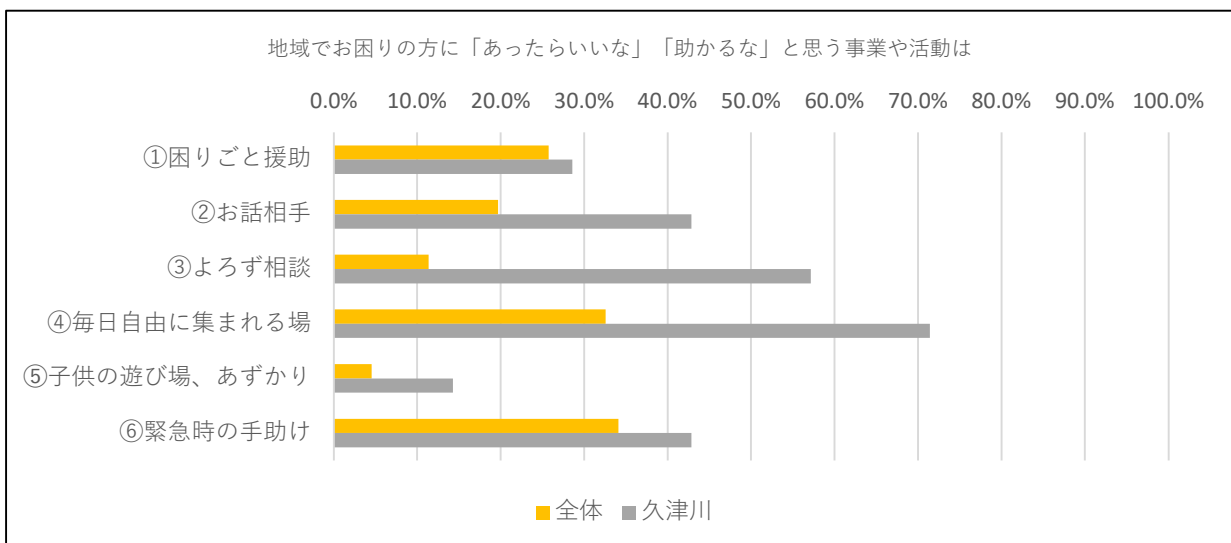
	全体		久津川	
①相談できる人がいる	38	28.8%	4	57.1%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	3	42.9%
③報酬が出る	6	4.5%	0	0.0%
④役割が明確にある	31	23.5%	0	0.0%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	3	42.9%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		久津川	
①困りごと援助	34	25.8%	2	28.6%
②お話相手	26	19.7%	3	42.9%
③よろず相談	15	11.4%	4	57.1%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	5	71.4%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	1	14.3%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	3	42.9%



校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

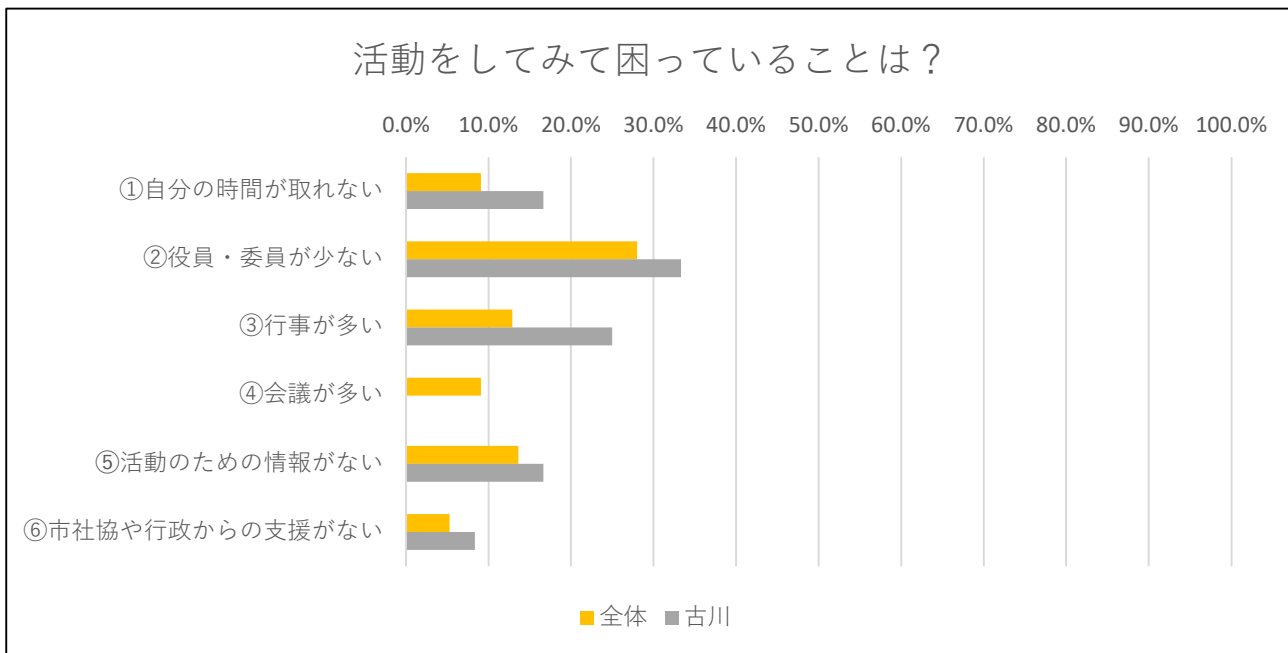
	全体	古川
(回答者数)	132	12

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

全体

古川

	全体	割合	古川	割合
①自分の時間が取れない	12	9.1%	2	16.7%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	4	33.3%
③行事が多い	17	12.9%	3	25.0%
④会議が多い	12	9.1%	0	0.0%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	2	16.7%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	1	8.3%

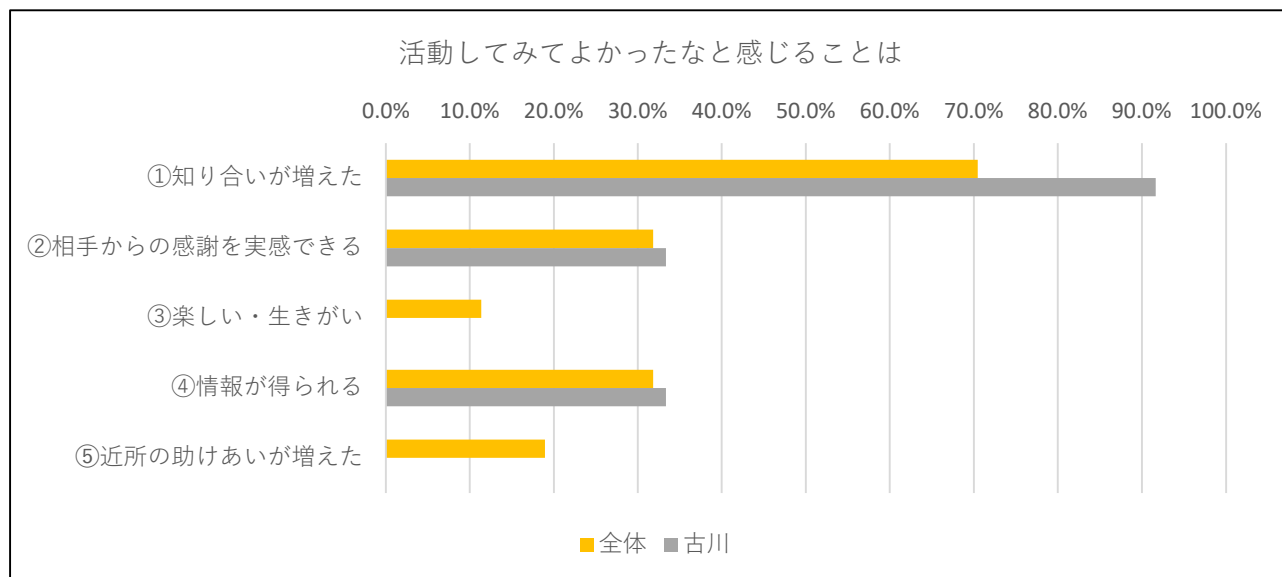


(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

全体

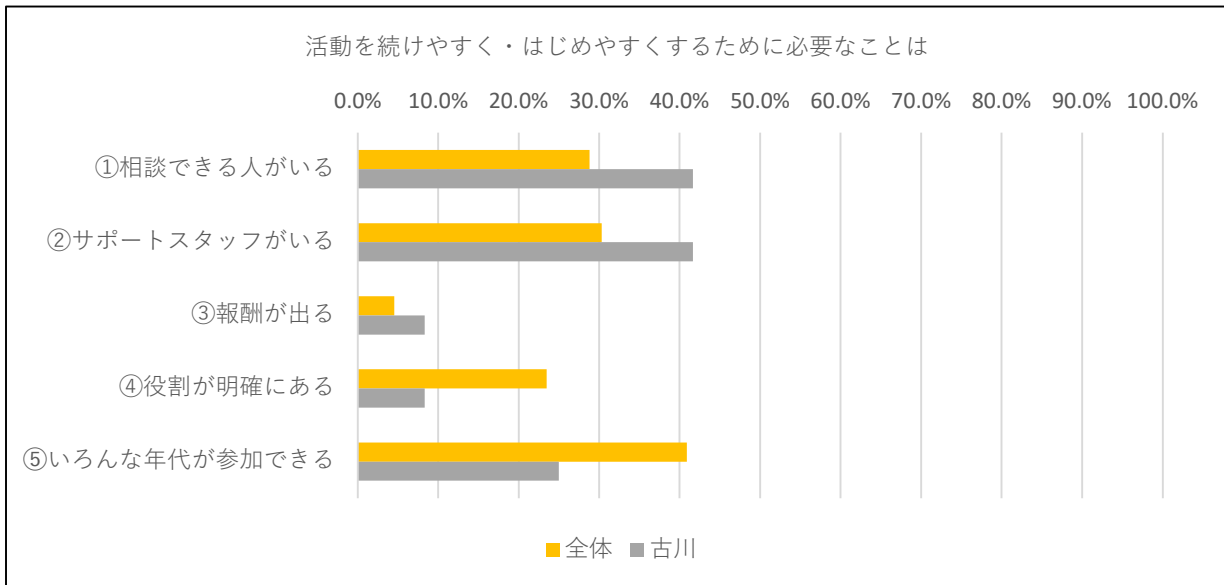
古川

	全体	割合	古川	割合
①知り合いが増えた	93	70.5%	11	91.7%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	4	33.3%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	0	0.0%
④情報が得られる	42	31.8%	4	33.3%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	0	0.0%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

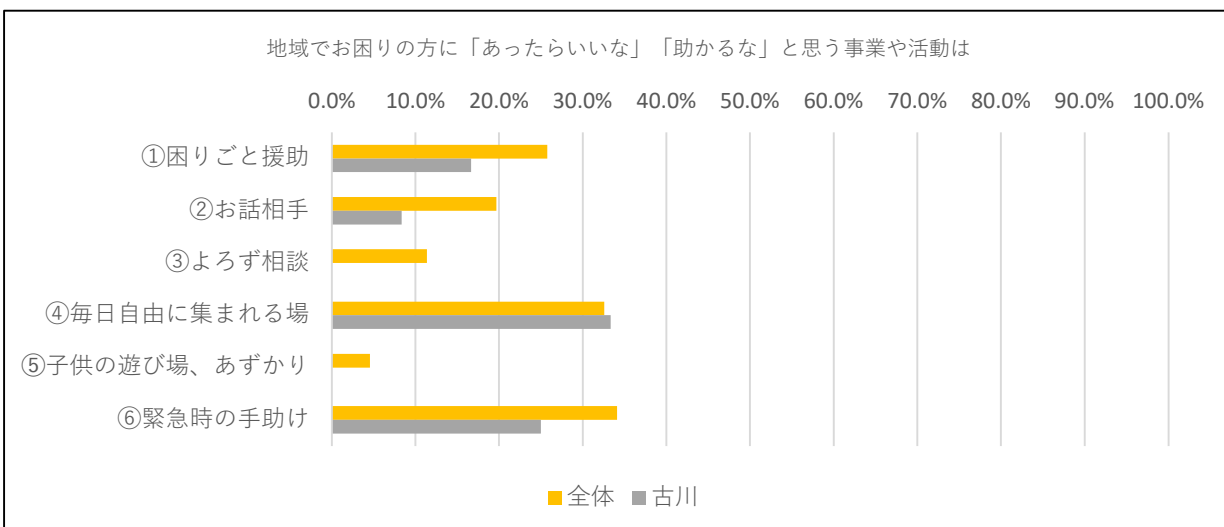
	全体		古川	
①相談できる人がいる	38	28.8%	5	41.7%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	5	41.7%
③報酬が出る	6	4.5%	1	8.3%
④役割が明確にある	31	23.5%	1	8.3%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	3	25.0%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		古川	
①困りごと援助	34	25.8%	2	16.7%
②お話相手	26	19.7%	1	8.3%
③よろず相談	15	11.4%	0	0.0%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	4	33.3%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	0	0.0%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	3	25.0%



校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

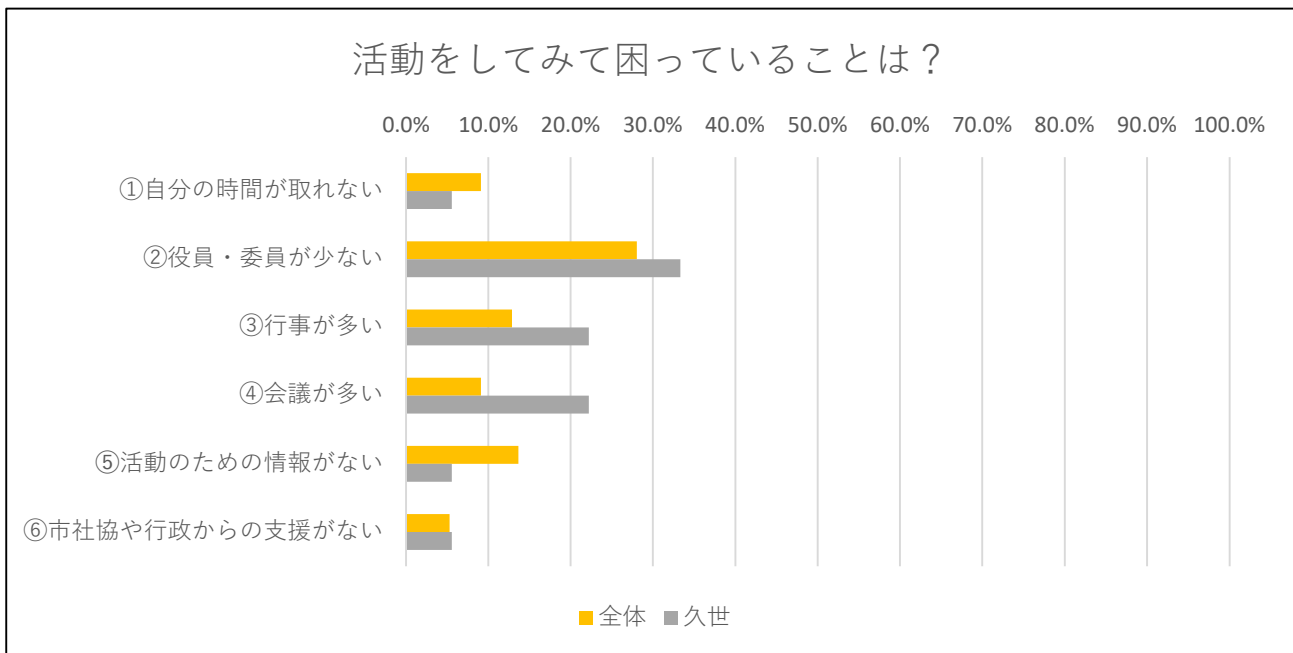
	全体	久世
(回答者数)	132	18

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

全体

久世

	全体	割合	久世	割合
①自分の時間が取れない	12	9.1%	1	5.6%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	6	33.3%
③行事が多い	17	12.9%	4	22.2%
④会議が多い	12	9.1%	4	22.2%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	1	5.6%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	1	5.6%

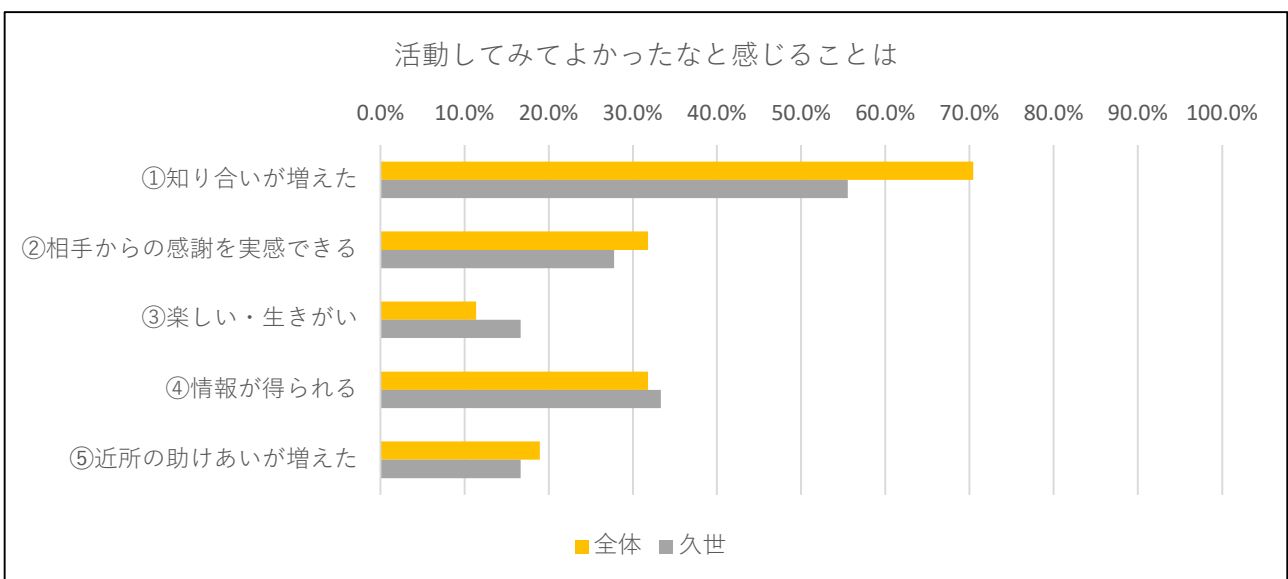


(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

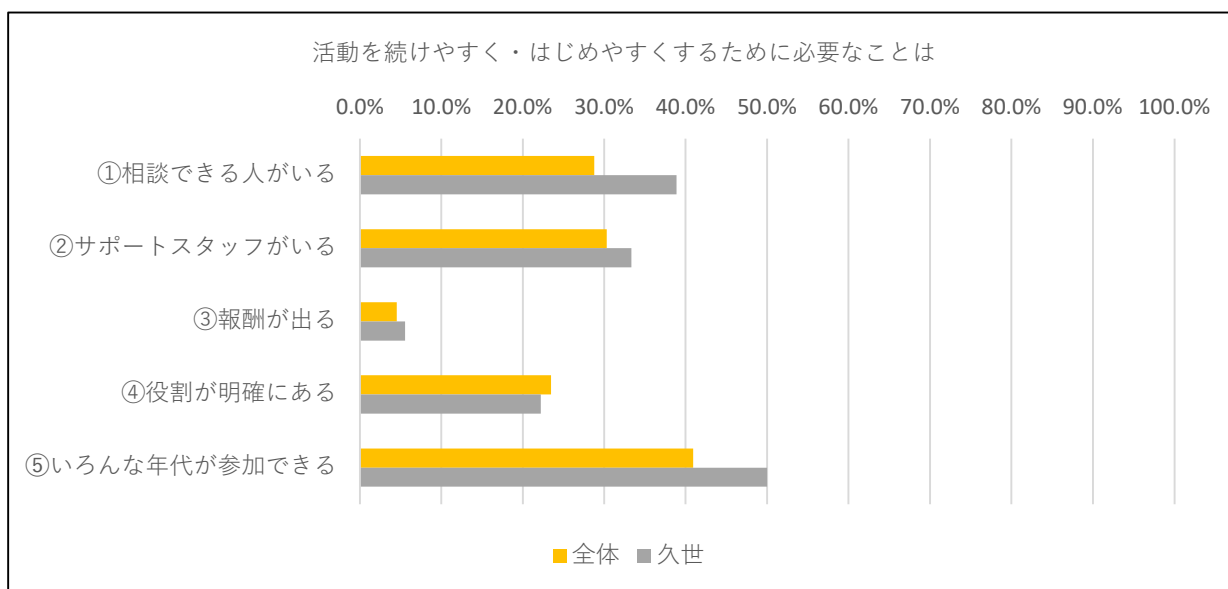
全体

久世

	全体	割合	久世	割合
①知り合いが増えた	93	70.5%	10	55.6%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	5	27.8%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	3	16.7%
④情報が得られる	42	31.8%	6	33.3%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	3	16.7%

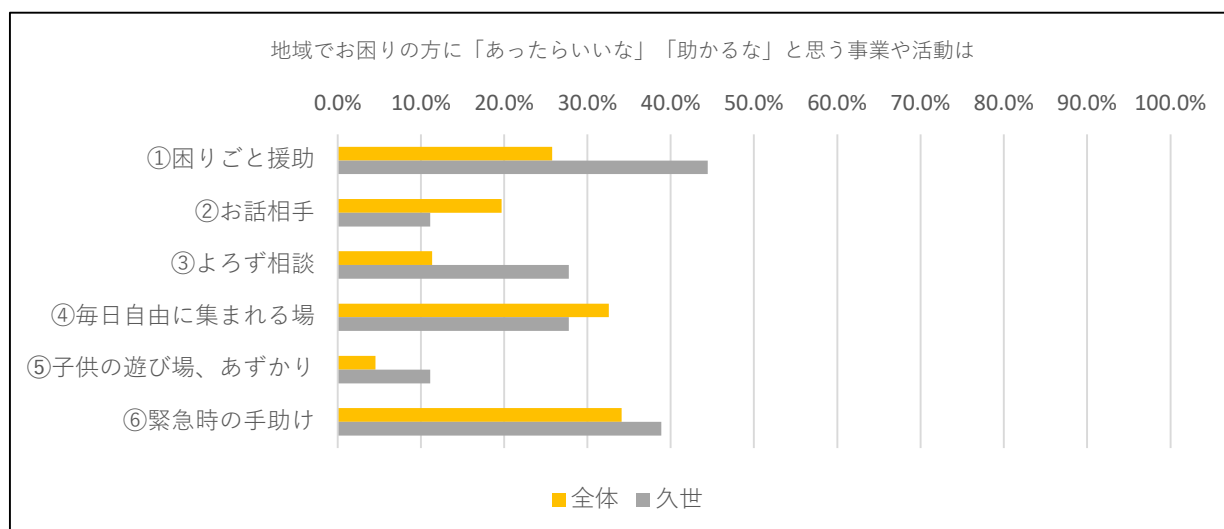


(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは	全体		久世	
①相談できる人がいる	38	28.8%	7	38.9%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	6	33.3%
③報酬が出る	6	4.5%	1	5.6%
④役割が明確にある	31	23.5%	4	22.2%
⑤いろいろな年代が参加できる	54	40.9%	9	50.0%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は	全体		久世	
①困りごと援助	34	25.8%	8	44.4%
②お話相手	26	19.7%	2	11.1%
③よろず相談	15	11.4%	5	27.8%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	5	27.8%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	2	11.1%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	7	38.9%



校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

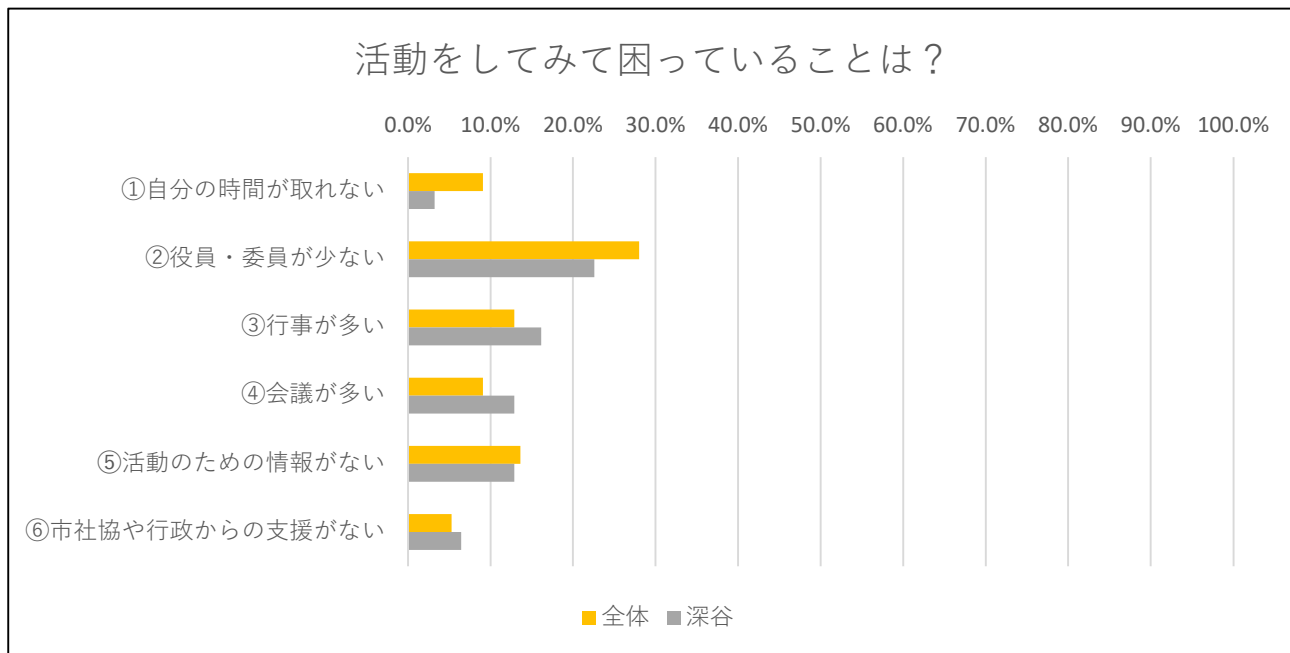
	全体	深谷
(回答者数)	132	31

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

全体

深谷

	全体	割合	深谷	割合
①自分の時間が取れない	12	9.1%	1	3.2%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	7	22.6%
③行事が多い	17	12.9%	5	16.1%
④会議が多い	12	9.1%	4	12.9%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	4	12.9%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	2	6.5%

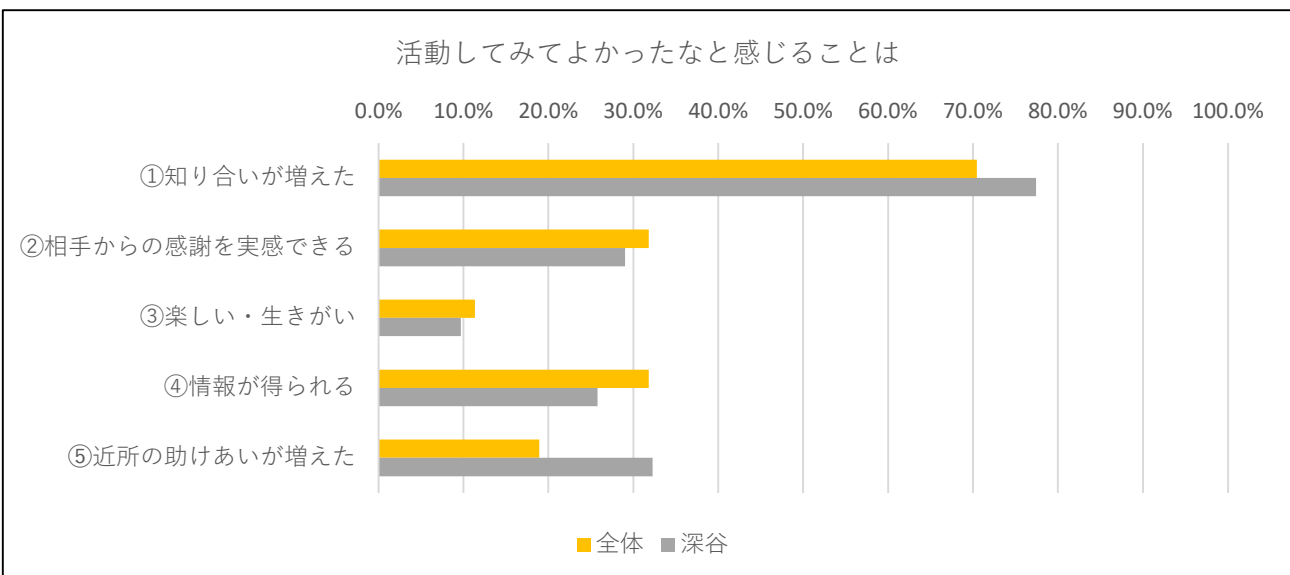


(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

全体

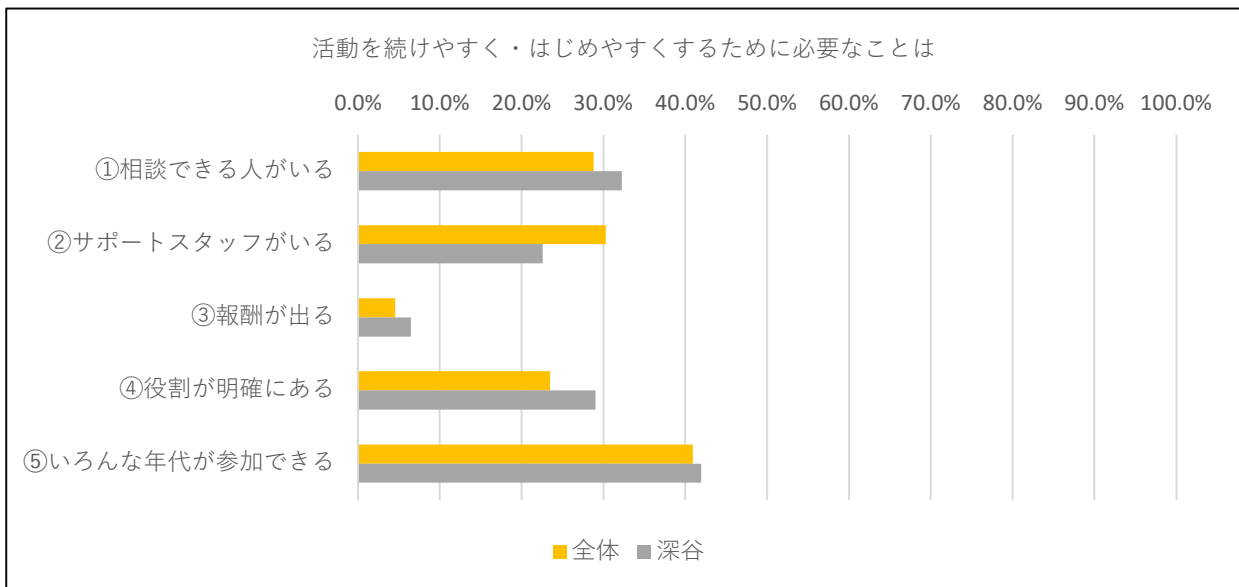
深谷

	全体	割合	深谷	割合
①知り合いが増えた	93	70.5%	24	77.4%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	9	29.0%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	3	9.7%
④情報が得られる	42	31.8%	8	25.8%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	10	32.3%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

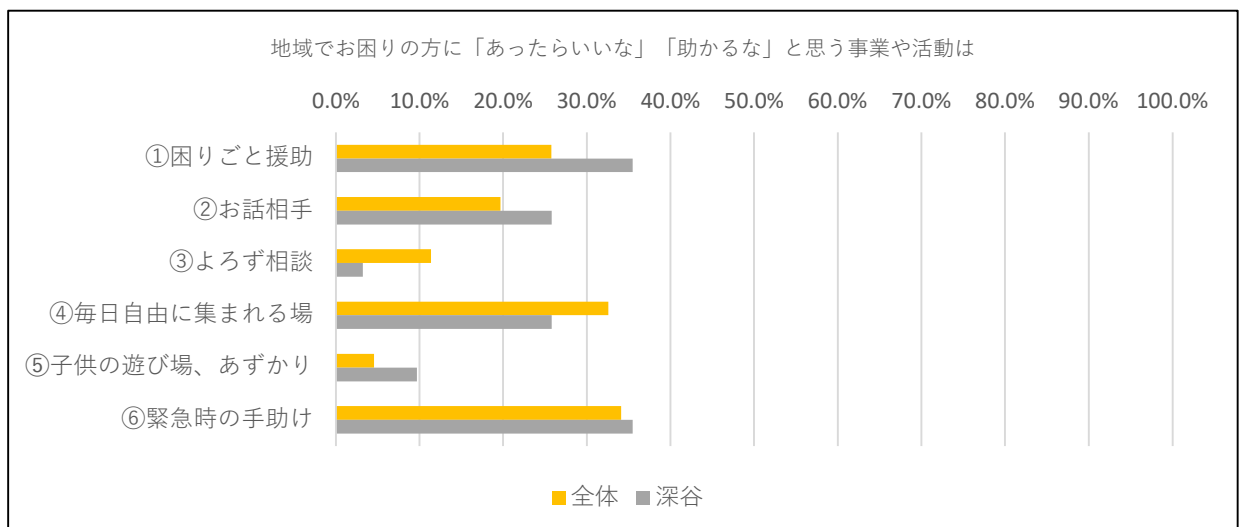
	全体		深谷	
①相談できる人がいる	38	28.8%	10	32.3%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	7	22.6%
③報酬が出る	6	4.5%	2	6.5%
④役割が明確にある	31	23.5%	9	29.0%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	13	41.9%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		深谷	
①困りごと援助	34	25.8%	11	35.5%
②お話相手	26	19.7%	8	25.8%
③よろず相談	15	11.4%	1	3.2%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	8	25.8%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	3	9.7%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	11	35.5%



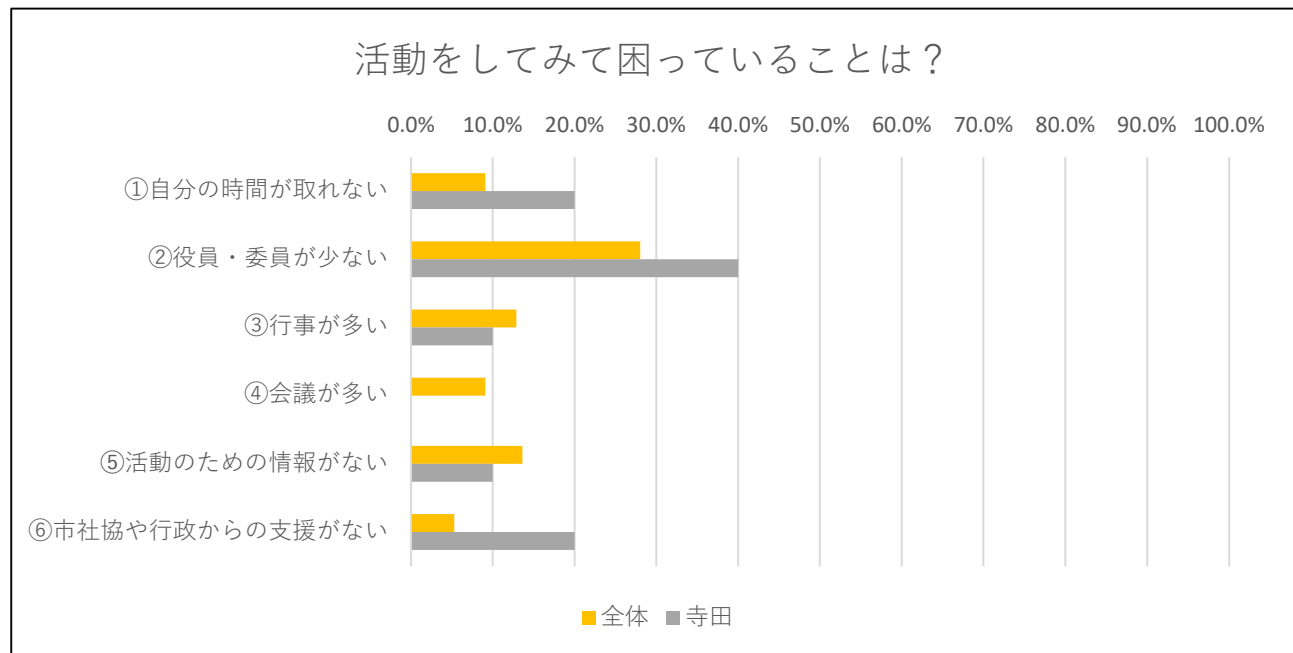
校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

	全体	寺田
(回答者数)	132	10

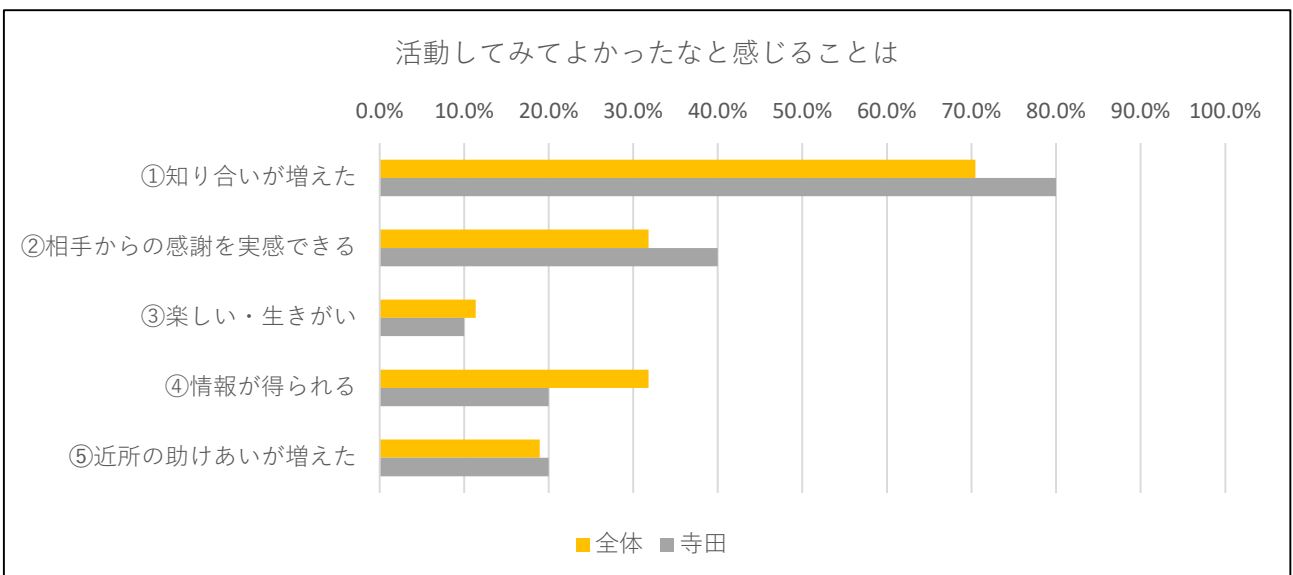
(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

	全体		寺田	
①自分の時間が取れない	12	9.1%	2	20.0%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	4	40.0%
③行事が多い	17	12.9%	1	10.0%
④会議が多い	12	9.1%	0	0.0%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	1	10.0%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	2	20.0%



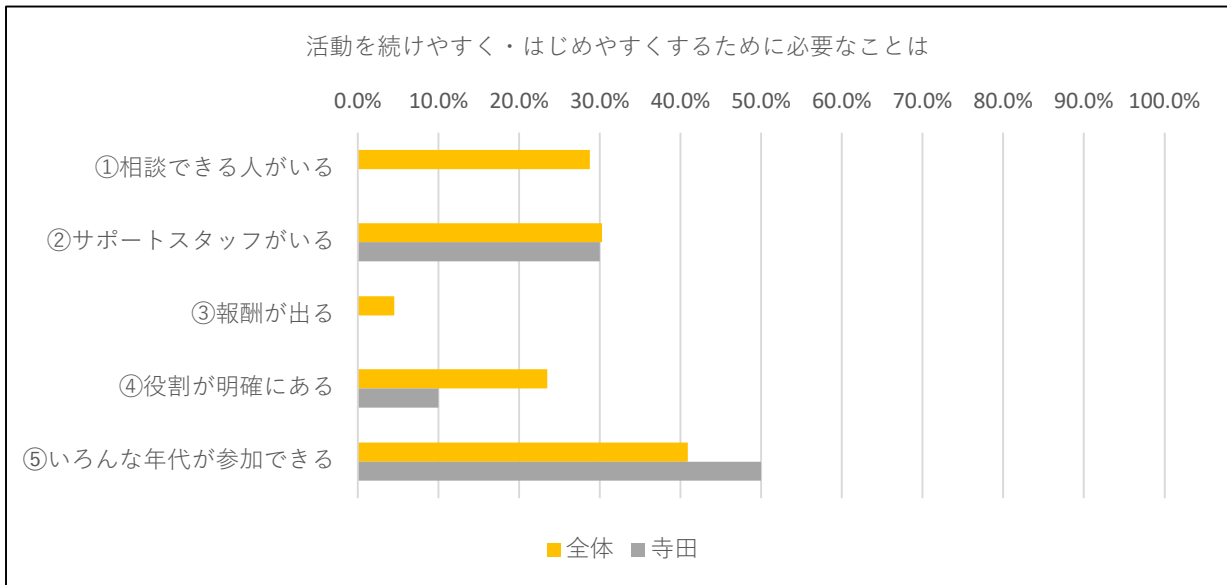
(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

	全体		寺田	
①知り合いが増えた	93	70.5%	8	80.0%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	4	40.0%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	1	10.0%
④情報が得られる	42	31.8%	2	20.0%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	2	20.0%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

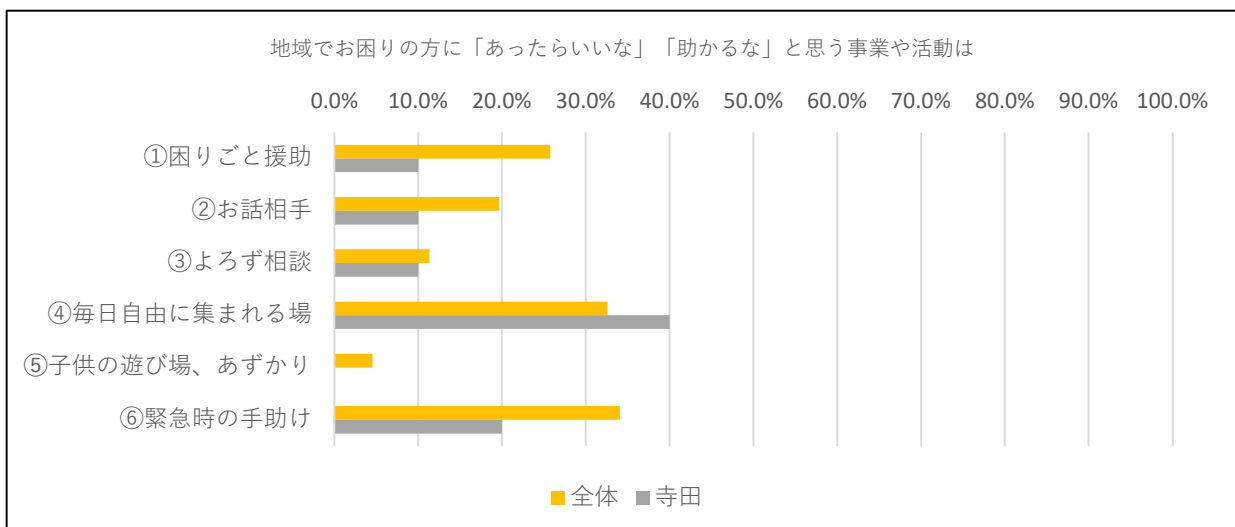
	全体		寺田	
①相談できる人がいる	38	28.8%	0	0.0%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	3	30.0%
③報酬が出る	6	4.5%	0	0.0%
④役割が明確にある	31	23.5%	1	10.0%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	5	50.0%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		寺田	
①困りごと援助	34	25.8%	1	10.0%
②お話相手	26	19.7%	1	10.0%
③よろず相談	15	11.4%	1	10.0%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	4	40.0%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	0	0.0%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	2	20.0%



校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

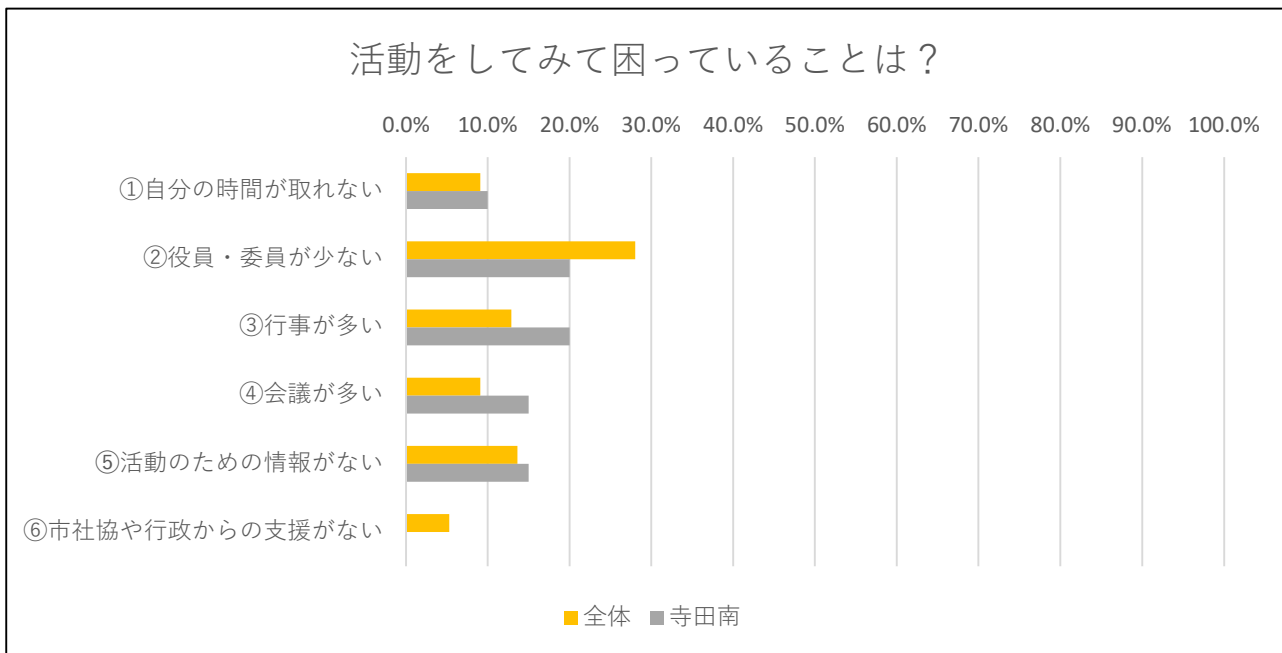
	全体	寺田南
(回答者数)	132	20

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

全体

寺田南

	全体	割合	寺田南	割合
①自分の時間が取れない	12	9.1%	2	10.0%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	4	20.0%
③行事が多い	17	12.9%	4	20.0%
④会議が多い	12	9.1%	3	15.0%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	3	15.0%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	0	0.0%

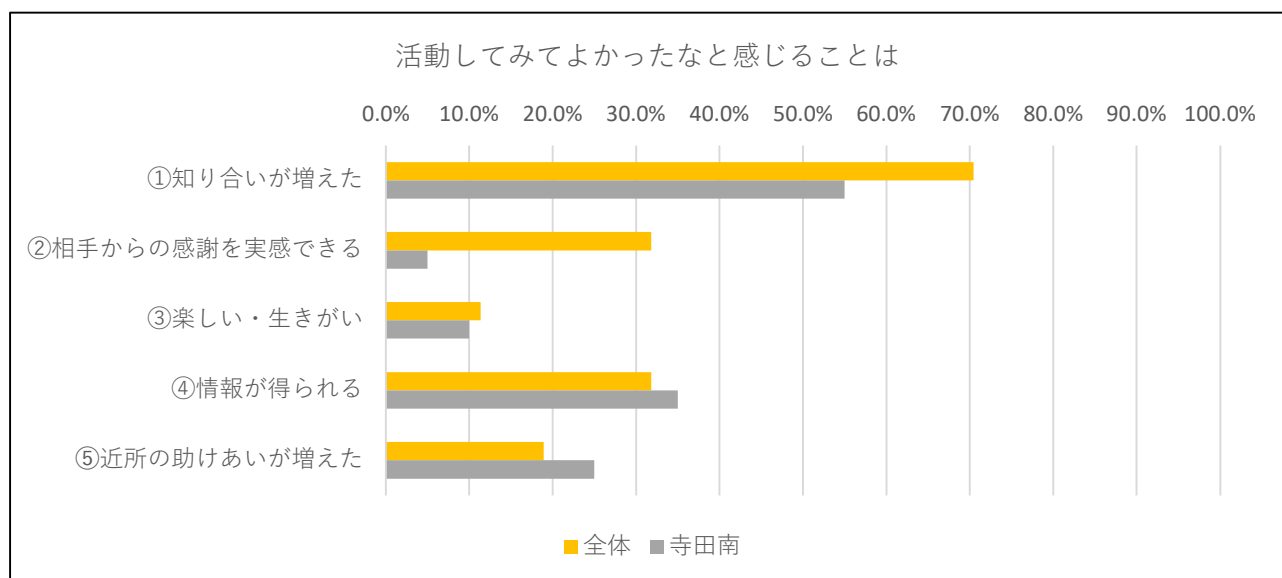


(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

全体

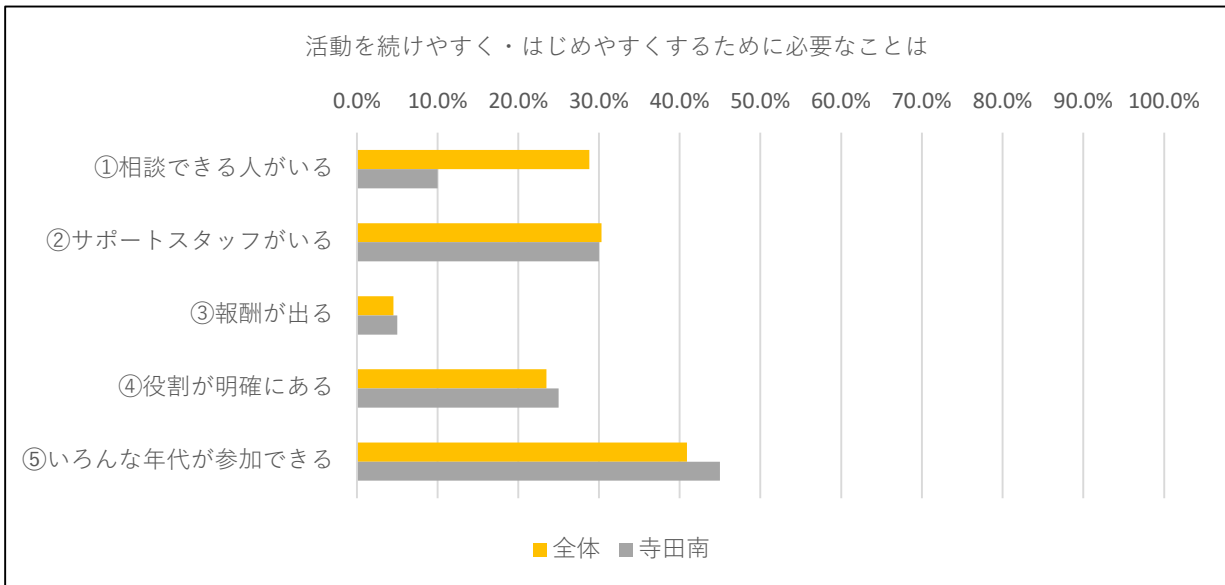
寺田南

	全体	割合	寺田南	割合
①知り合いが増えた	93	70.5%	11	55.0%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	1	5.0%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	2	10.0%
④情報が得られる	42	31.8%	7	35.0%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	5	25.0%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

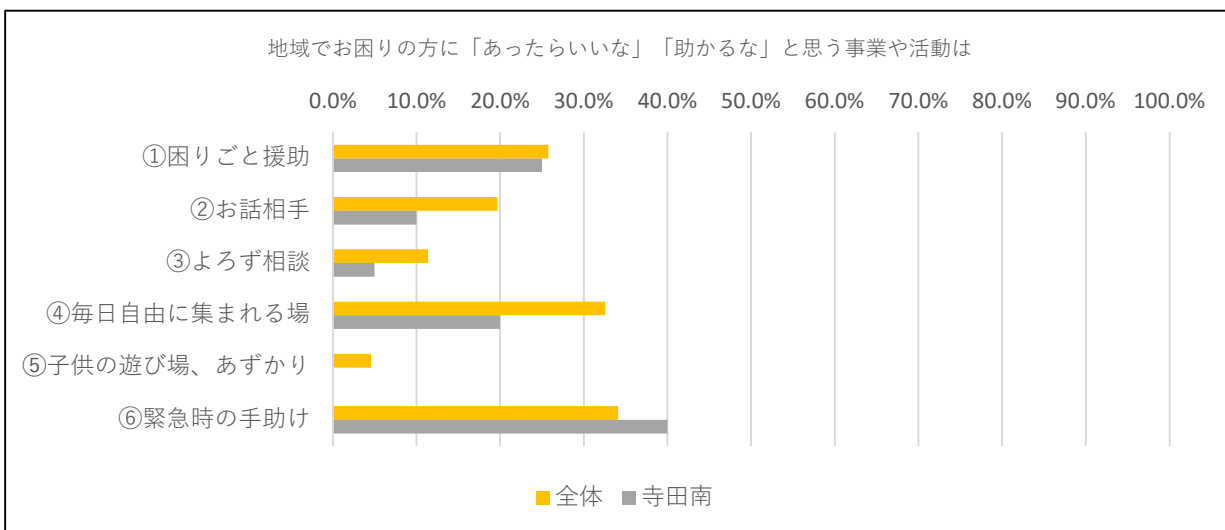
	全体		寺田南	
①相談できる人がいる	38	28.8%	2	10.0%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	6	30.0%
③報酬が出る	6	4.5%	1	5.0%
④役割が明確にある	31	23.5%	5	25.0%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	9	45.0%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		寺田南	
①困りごと援助	34	25.8%	5	25.0%
②お話相手	26	19.7%	2	10.0%
③よろず相談	15	11.4%	1	5.0%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	4	20.0%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	0	0.0%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	8	40.0%



校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

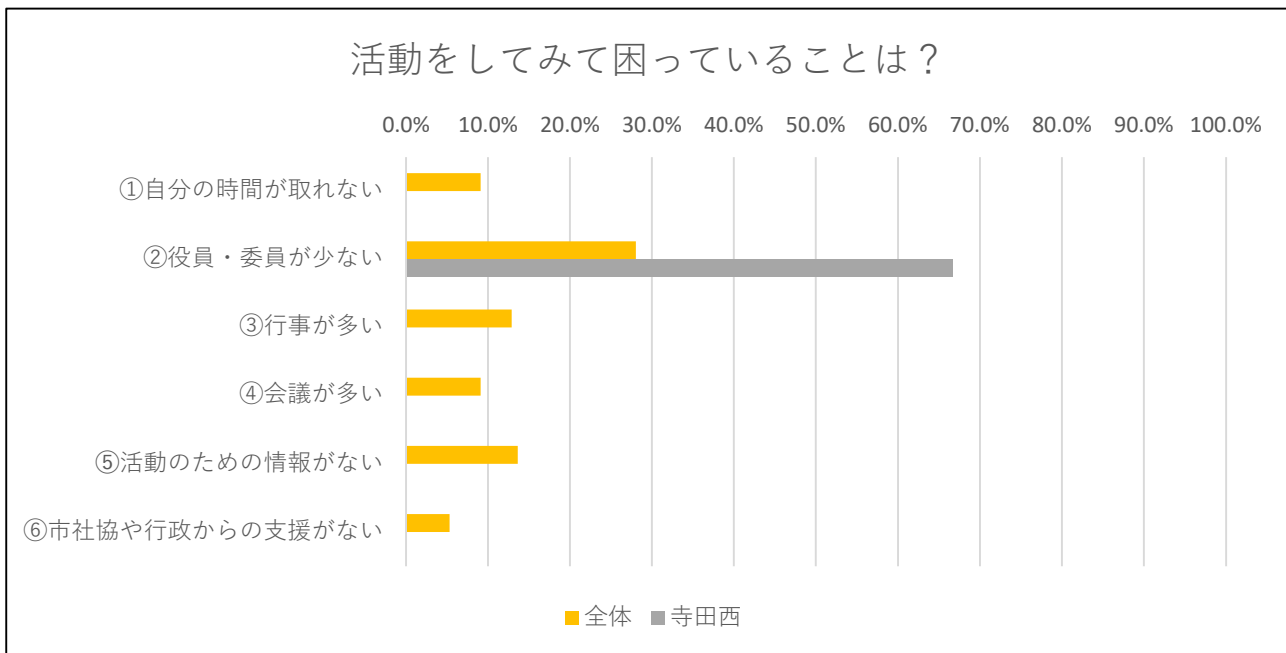
	全体	寺田西
(回答者数)	132	6

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

全体

寺田西

	全体	割合	寺田西	割合
①自分の時間が取れない	12	9.1%	0	0.0%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	4	66.7%
③行事が多い	17	12.9%	0	0.0%
④会議が多い	12	9.1%	0	0.0%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	0	0.0%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	0	0.0%

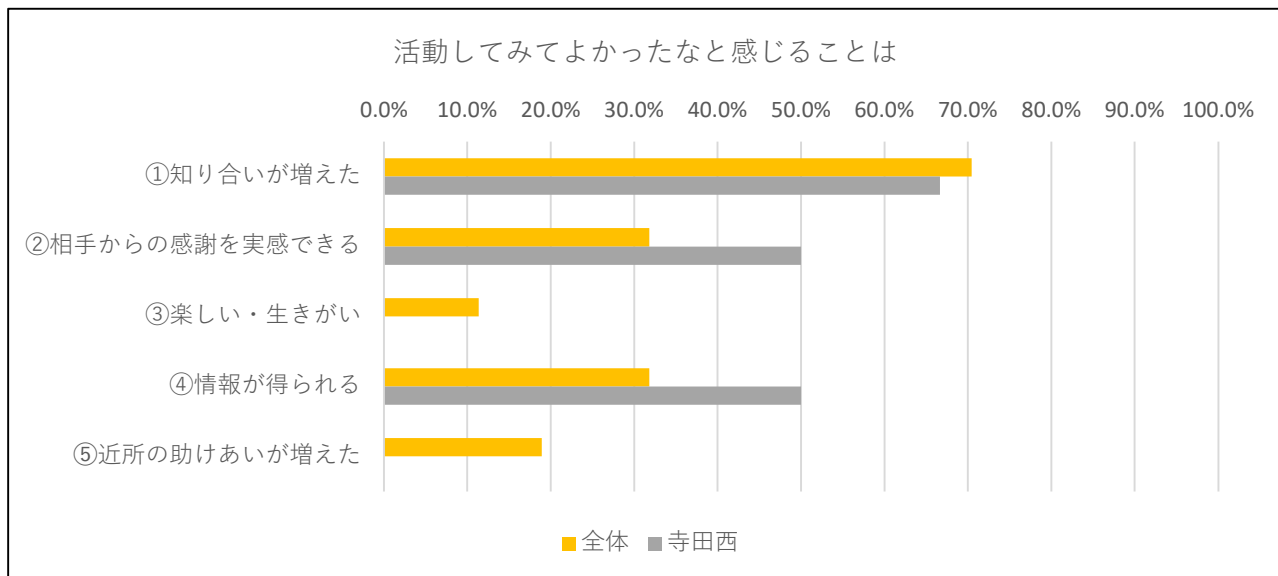


(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

全体

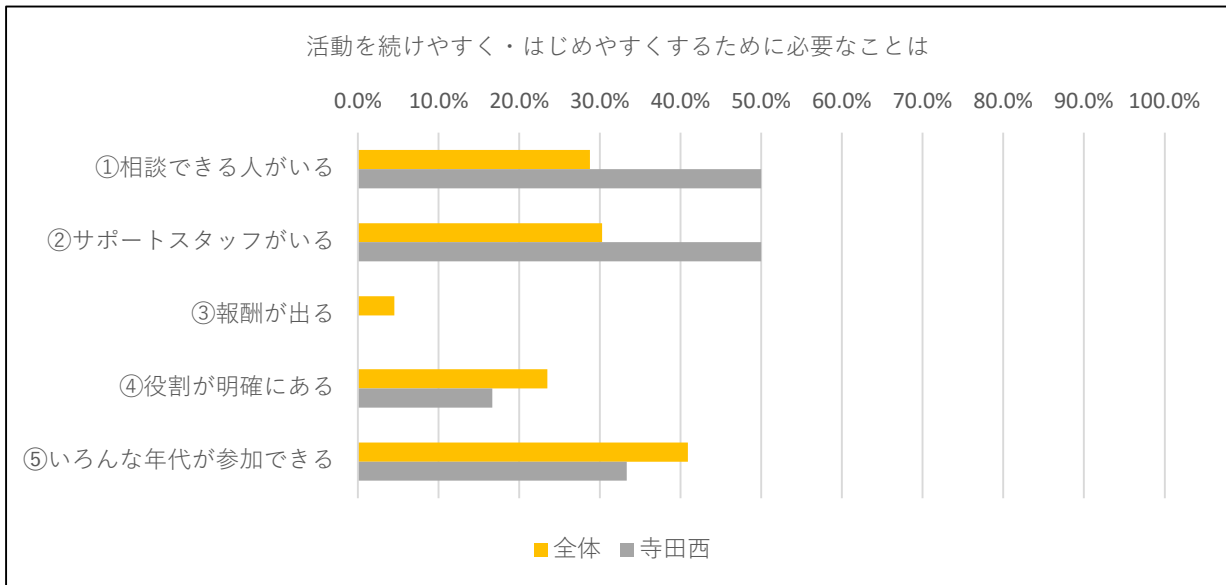
寺田西

	全体	割合	寺田西	割合
①知り合いが増えた	93	70.5%	4	66.7%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	3	50.0%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	0	0.0%
④情報が得られる	42	31.8%	3	50.0%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	0	0.0%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

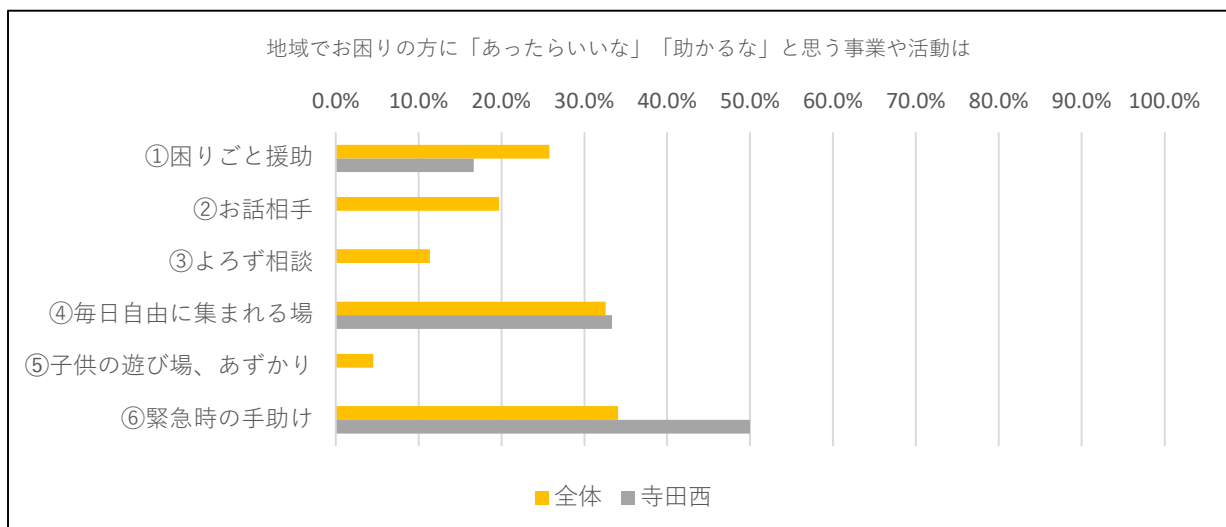
	全体		寺田西	
①相談できる人がいる	38	28.8%	3	50.0%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	3	50.0%
③報酬が出る	6	4.5%	0	0.0%
④役割が明確にある	31	23.5%	1	16.7%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	2	33.3%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		寺田西	
①困りごと援助	34	25.8%	1	16.7%
②お話相手	26	19.7%	0	0.0%
③よろず相談	15	11.4%	0	0.0%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	2	33.3%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	0	0.0%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	3	50.0%



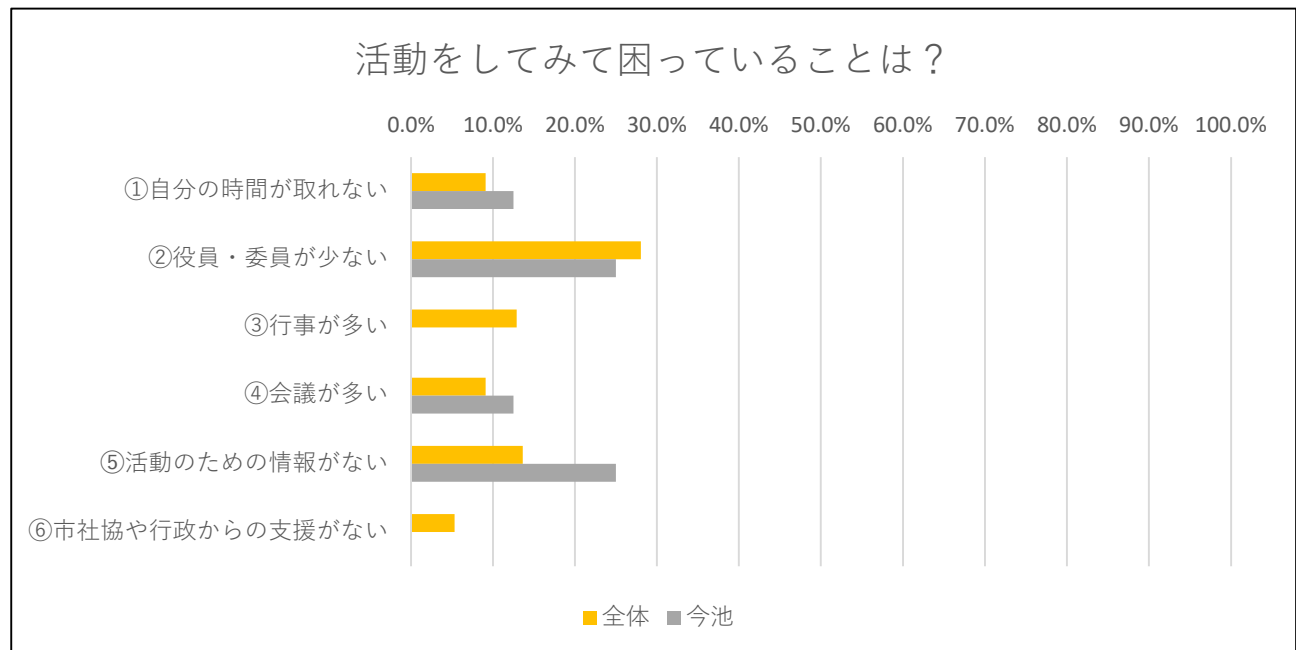
校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

	全体	今池
(回答者数)	132	8

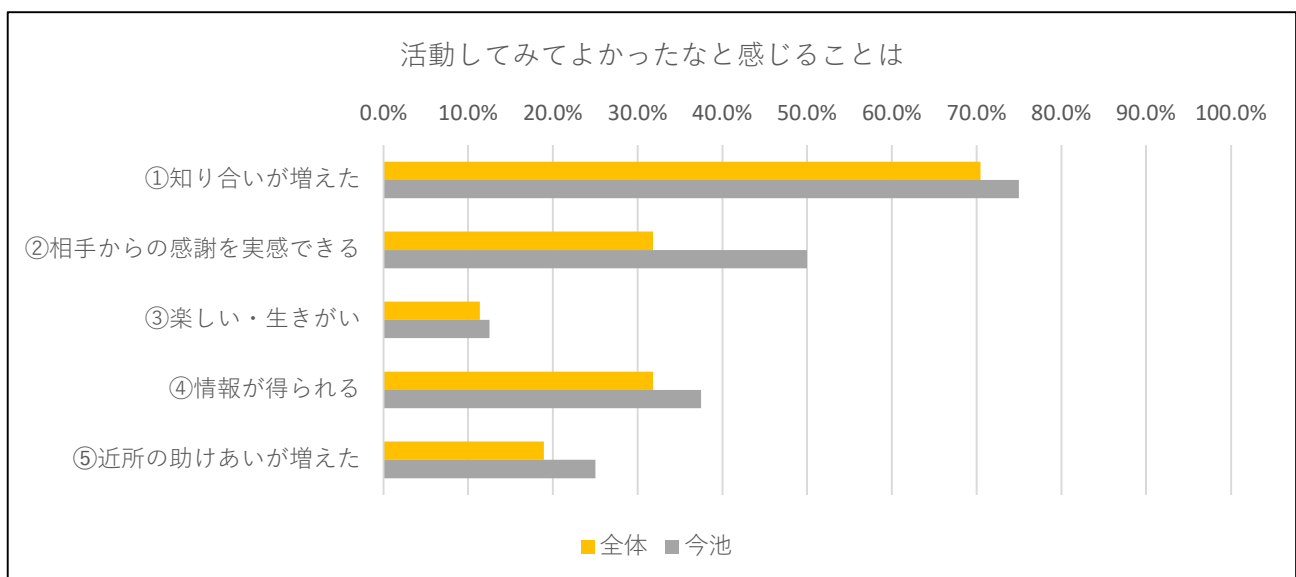
(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

	全体		今池	
①自分の時間が取れない	12	9.1%	1	12.5%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	2	25.0%
③行事が多い	17	12.9%	0	0.0%
④会議が多い	12	9.1%	1	12.5%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	2	25.0%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	0	0.0%



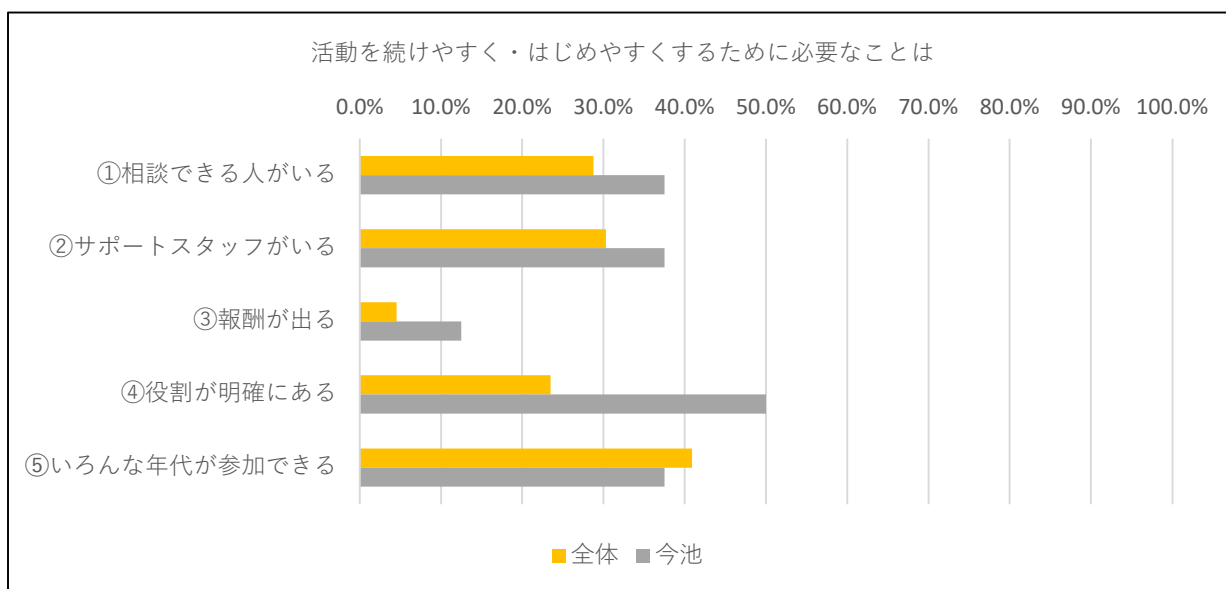
(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

	全体		今池	
①知り合いが増えた	93	70.5%	6	75.0%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	4	50.0%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	1	12.5%
④情報が得られる	42	31.8%	3	37.5%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	2	25.0%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

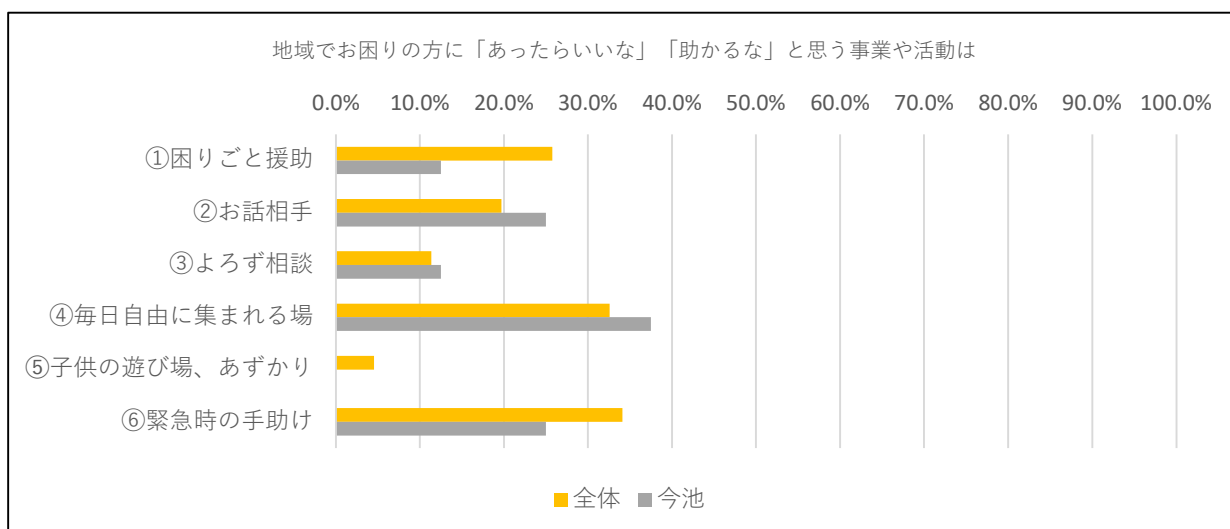
	全体		今池	
①相談できる人がいる	38	28.8%	3	37.5%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	3	37.5%
③報酬が出る	6	4.5%	1	12.5%
④役割が明確にある	31	23.5%	4	50.0%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	3	37.5%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		今池	
①困りごと援助	34	25.8%	1	12.5%
②お話相手	26	19.7%	2	25.0%
③よろず相談	15	11.4%	1	12.5%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	3	37.5%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	0	0.0%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	2	25.0%



校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

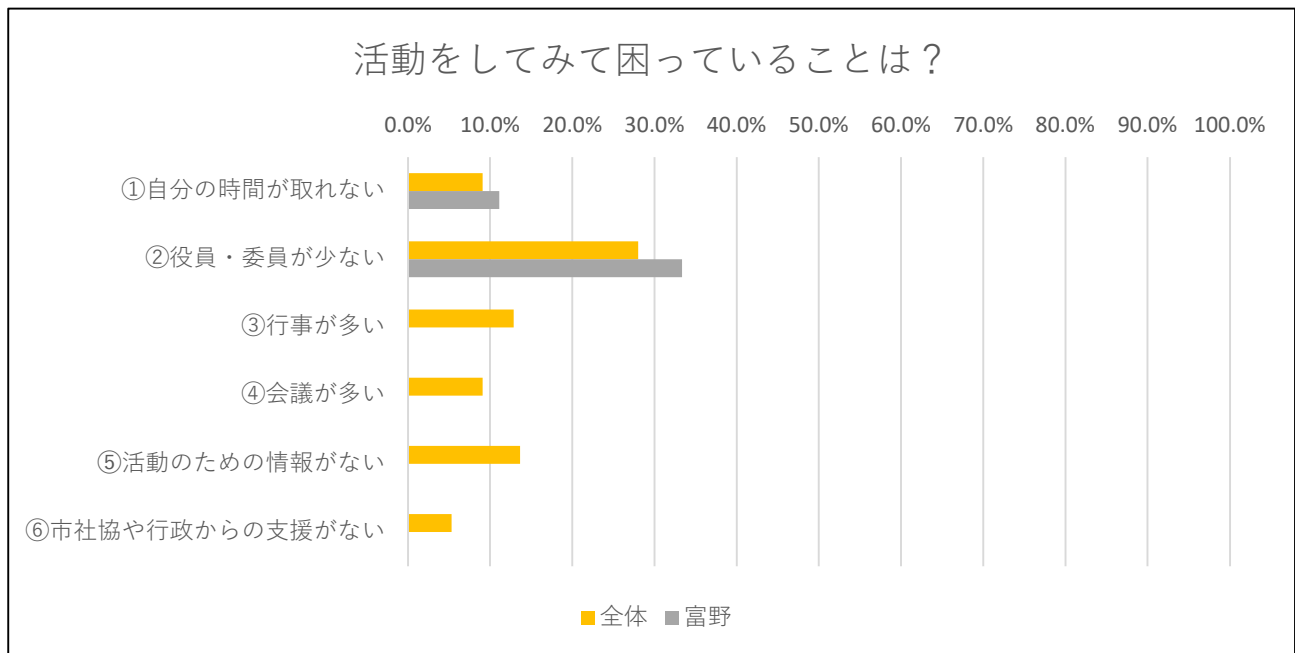
	全体	富野
(回答者数)	132	9

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

全体

富野

	全体	割合	富野	割合
①自分の時間が取れない	12	9.1%	1	11.1%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	3	33.3%
③行事が多い	17	12.9%	0	0.0%
④会議が多い	12	9.1%	0	0.0%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	0	0.0%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	0	0.0%

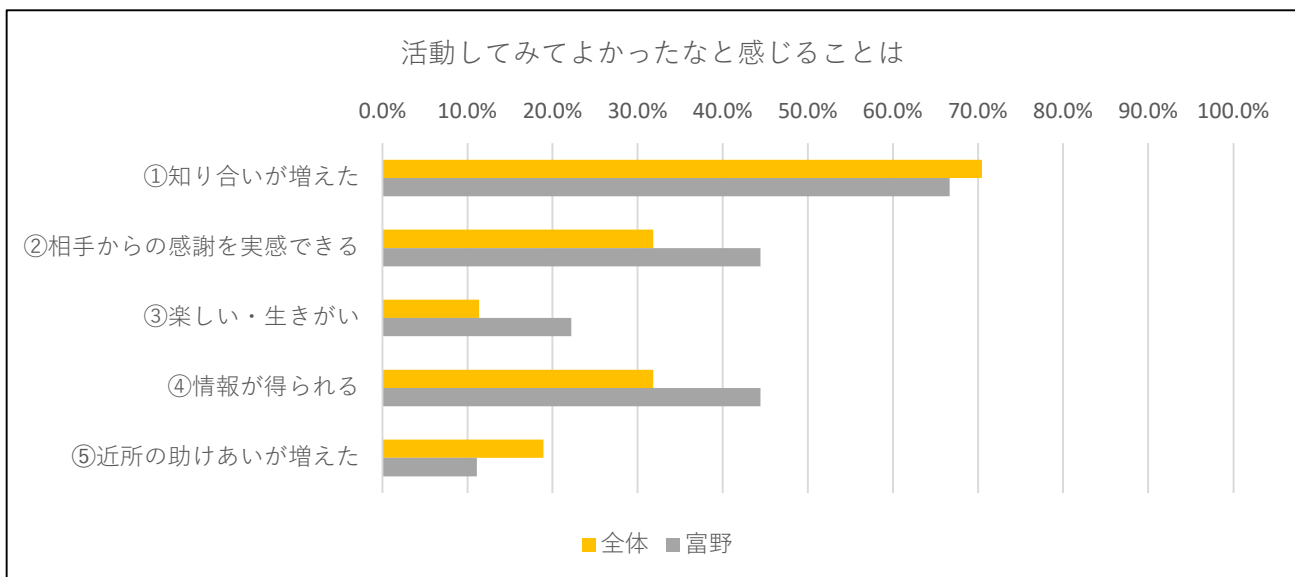


(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

全体

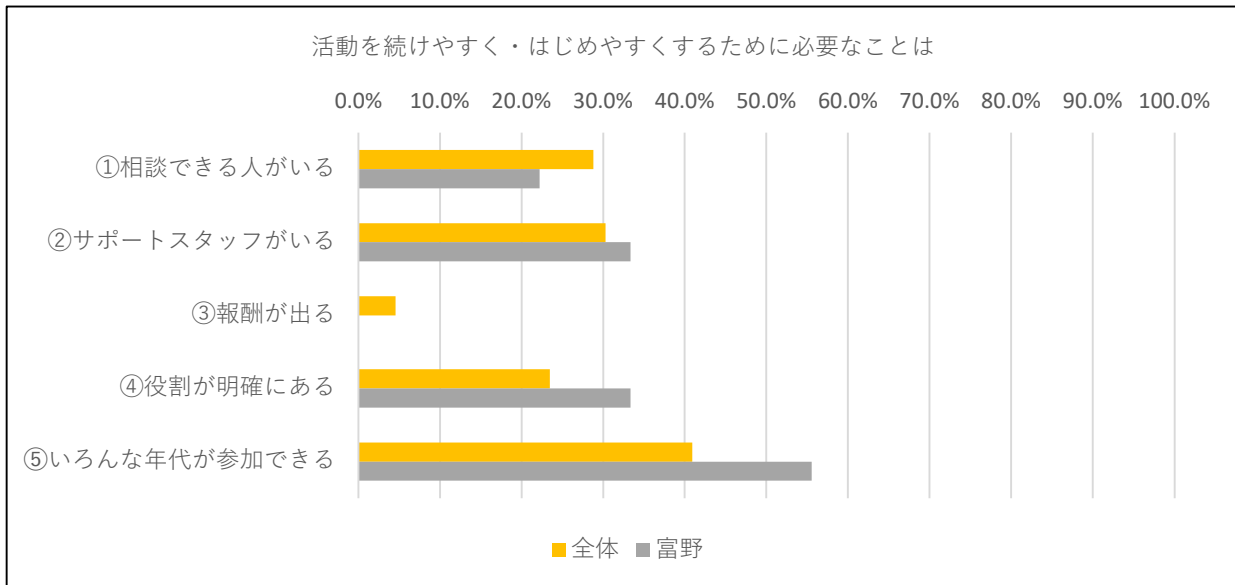
富野

	全体	割合	富野	割合
①知り合いが増えた	93	70.5%	6	66.7%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	4	44.4%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	2	22.2%
④情報が得られる	42	31.8%	4	44.4%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	1	11.1%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

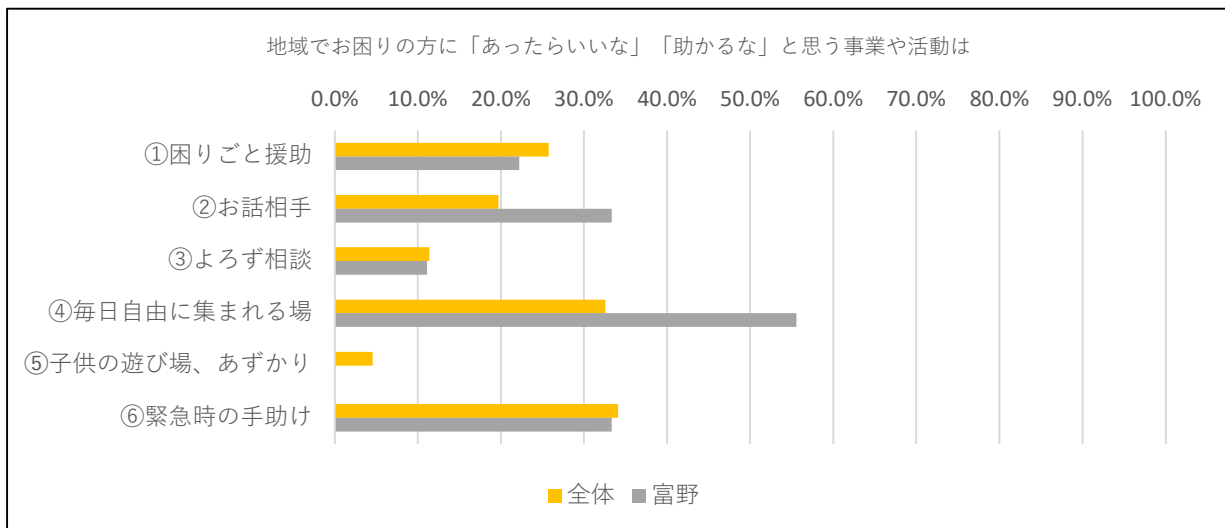
	全体		富野	
①相談できる人がいる	38	28.8%	2	22.2%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	3	33.3%
③報酬が出る	6	4.5%	0	0.0%
④役割が明確にある	31	23.5%	3	33.3%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	5	55.6%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		富野	
①困りごと援助	34	25.8%	2	22.2%
②お話相手	26	19.7%	3	33.3%
③よろず相談	15	11.4%	1	11.1%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	5	55.6%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	0	0.0%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	3	33.3%



校区社協における福祉活動に関する調査結果(校区別)

※割合についてはそれぞれの回答者数比

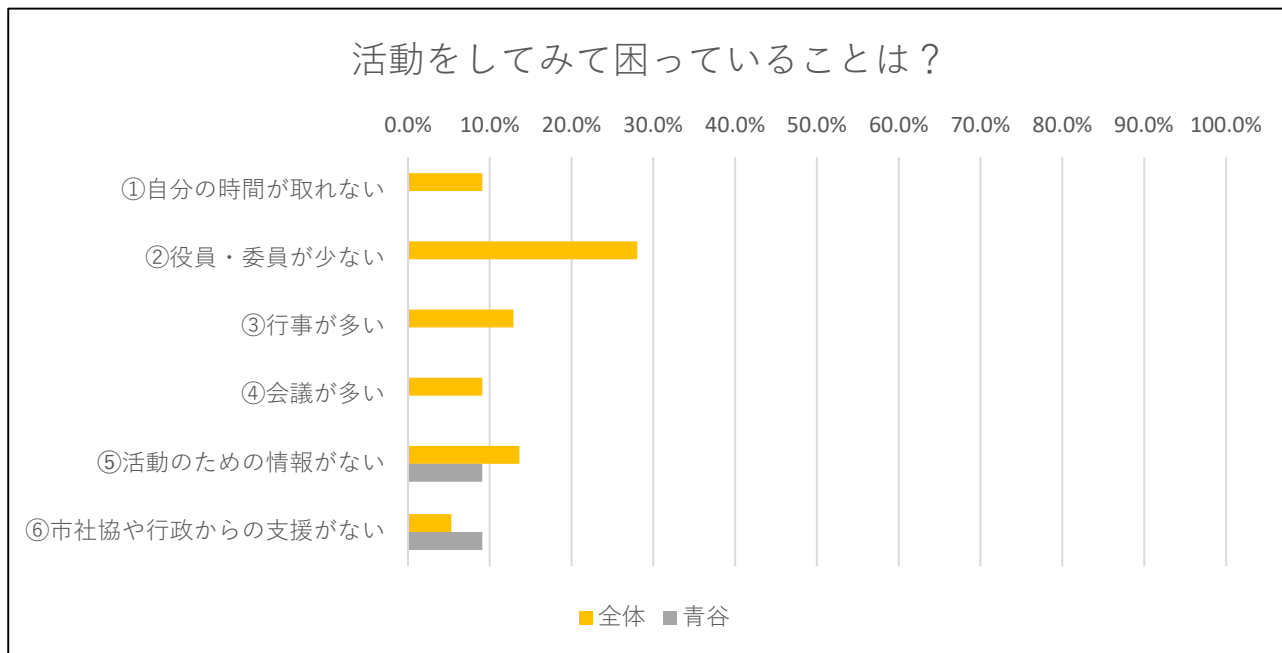
	全体	青谷
(回答者数)	132	11

(1) 活動をしてみて困っている(問題だと感じる)ことは

全体

青谷

	全体	割合	青谷	割合
①自分の時間が取れない	12	9.1%	0	0.0%
②役員・委員が少ない	37	28.0%	0	0.0%
③行事が多い	17	12.9%	0	0.0%
④会議が多い	12	9.1%	0	0.0%
⑤活動のための情報がない	18	13.6%	1	9.1%
⑥市社協や行政からの支援がない	7	5.3%	1	9.1%

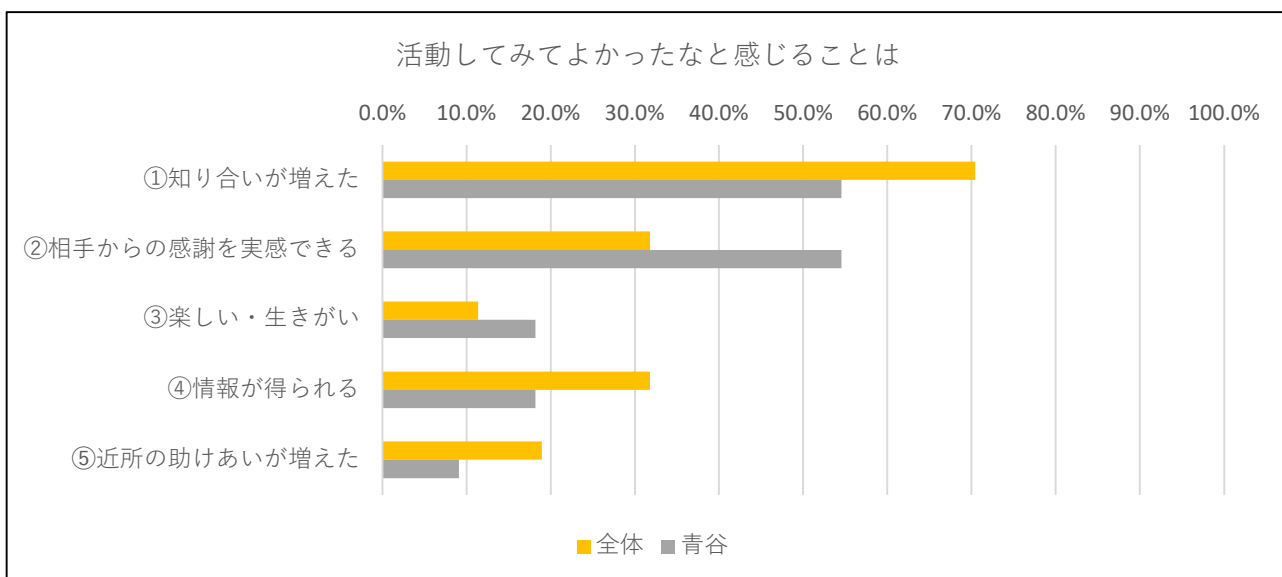


(2) 活動をしてみてよかったな(役立っている)と感じることは

全体

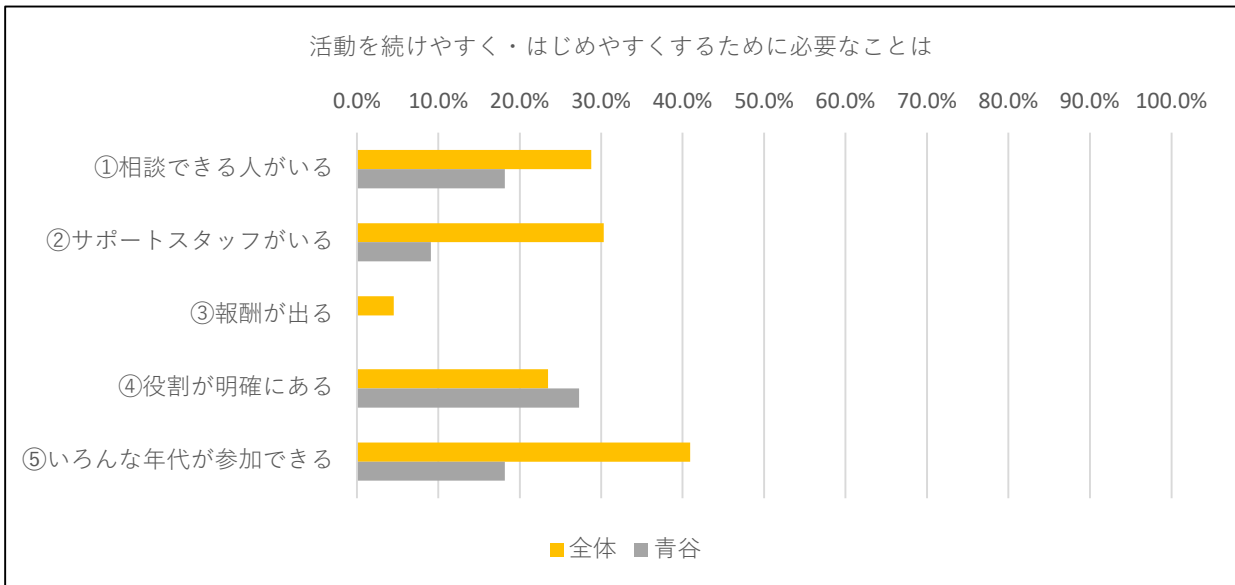
青谷

	全体	割合	青谷	割合
①知り合いが増えた	93	70.5%	6	54.5%
②相手からの感謝を実感できる	42	31.8%	6	54.5%
③楽しい・生きがい	15	11.4%	2	18.2%
④情報が得られる	42	31.8%	2	18.2%
⑤近所の助けあいが増えた	25	18.9%	1	9.1%



(3) 活動を続けやすく・はじめやすくするために必要なことは

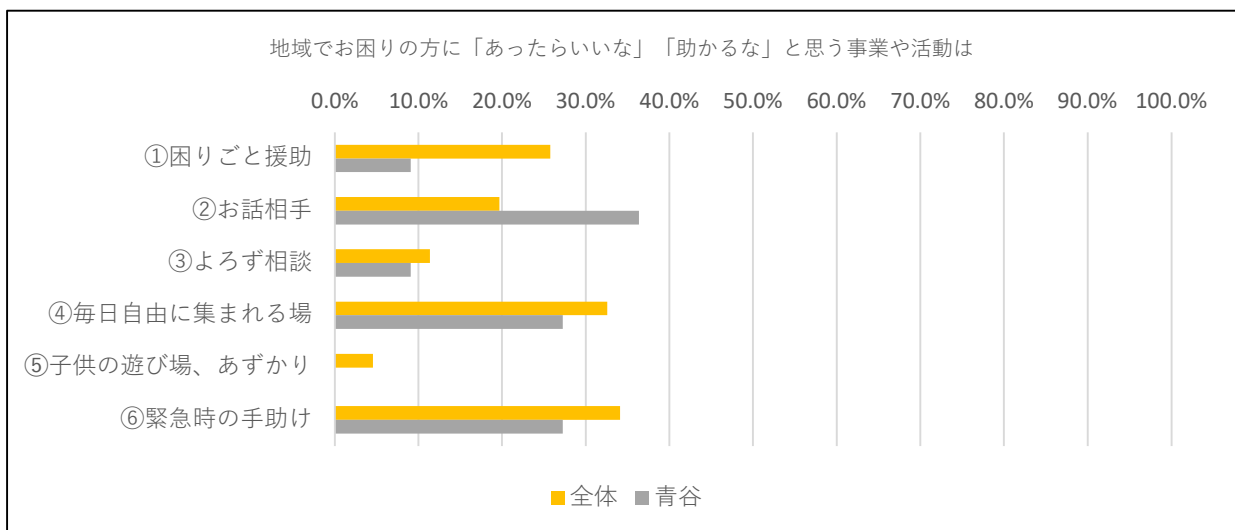
	全体		青谷	
①相談できる人がいる	38	28.8%	2	18.2%
②サポートスタッフがいる	40	30.3%	1	9.1%
③報酬が出る	6	4.5%	0	0.0%
④役割が明確にある	31	23.5%	3	27.3%
⑤いろんな年代が参加できる	54	40.9%	2	18.2%



2. 校区社協やボランティア活動について

(3) 地域でお困りの方に「あったらいいな」「助かるな」と思う事業や活動は

	全体		青谷	
①困りごと援助	34	25.8%	1	9.1%
②お話相手	26	19.7%	4	36.4%
③よろず相談	15	11.4%	1	9.1%
④毎日自由に集まれる場	43	32.6%	3	27.3%
⑤子供の遊び場、あずかり	6	4.5%	0	0.0%
⑥緊急時の手助け	45	34.1%	3	27.3%



地域と社会福祉施設・社会福祉関係事業者との協働に関する調査結果 (社会福祉法人)

問1. 貴法人は、地域住民あるいは地域団体に対し、地域貢献活動をどの程度行っておられますか。

①計画通り実施できている。	5
②計画通り実施できていない。	0
③検討中	0

問2. 貴法人はどのような地域貢献活動に取り組んでいますか。

()内に具体的な内容もご記入ください。

①ボランティアの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・龍谷大学短期大学部出前講義 ・深谷小学校へ話をしに行っている ・城陽市自立支援協議会サービス調整部会へ参加 ・随時受け入れ
②地域のサロンや研修会等への協力・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉まつり、クリーンクラブ等 ・ひまわり号や手作りコンサートきしゃぼっぼの事務局を担っている ・福祉まつり、の開催協力 ・校区社協への協力
③地域行事への協働開催	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉まつり、クリーンクラブ等 ・ひまわり号や手作りコンサートきしゃぼっぼの事務局を担っている ・福祉まつり、の開催協力 ・校区社協への協力
④地域行事への資金援助・スタッフ派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいまつり販売スタッフ ・校区の運動会に職員を派遣 ・福祉まつりへのスタッフ派遣 ・校区社協への協力
⑤施設の一部開放・貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所 ・要請あれば部屋の貸し出し ・要請に応じて
⑥備品の貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・要請あれば貸出 ・V連へポップコーン機貸出経験あり
⑦備品・資材等の保管場所の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府南部フードバンク
⑧その他	<ul style="list-style-type: none"> ・青谷小学校運営協議員 ・Do作業室は避難場所として地域住民に一部開放 ・要請あれば地域行事への出演や福祉施設との交流 ・小中学校福祉教育、子ども学習支援 ・福祉体験学習における車いす体験学習への講師派遣 (R4年度3校予定)

問3. (問1で②③と回答された場合) 貴法人は、どのような地域貢献活動に取り組もうと検討されていますか。

①ボランティアの受け入れ	0
②地域のサロンや研修会等への協力・支援	0
③地域行事への協働開催	0
④地域行事への資金援助・スタッフ派遣	0
⑤施設の一部開放・貸出	0
⑥備品の貸出	0
⑦備品・資材等の保管場所の提供	0
⑧その他	0

問4. 貴法人が、今後より地域貢献活動に取り組むために何が必要ですか。

①既に取り組んでいる他法人の内容等の情	1
②取り組みについての研修会	1
③アドバイザーからの助言	1
④活動に専従できる人員	1
⑤財源	2
⑥地域団体とのネットワーク	4
⑦その他	・人と時間 ・地域貢献活動を幅広く取り組むための人員確保 ・コロナ感染症の克服

問5. 貴法人は、地域貢献活動について職員に対しどのように示していますか。

①法人の理念・目標にしている	4
②事業計画にしている	6
③担当部署・職員を配置している	3
④所属長等から積極的参加を呼び掛けてい	3
⑤地域への感謝を伝えている	0
⑥職員の評価項目に加えている	0
⑦広報紙やHPに掲載している	2
⑧職員への説明会・研修会をしている	1
⑨その他	0

問6. 新型コロナウイルス感染症まん延以降、地域貢献活動はどのように変化しましたか。

① コロナ前の状況を継続した。	0
② コロナ前の状況より減少した。	4
③ コロナ前の状況より増加した。	0
④ その他	・縮小した活動もありましたが、新たに発展した活動もあります。 ・状況に合わせて実施

問7. 地域との協働に取り組む上で、市社協に期待することやご意見がございましたらご記入ください。

・現状特でない ・地域と事業所をつなぐコーディネーターとして機能してほしい ・本業の人員スタッフ確保が難しい現状 ・プロジェクトチームの下にワーキンググループをつくり、計画を実行できる組織づくりを期待します。

問8. 貴法人で今以上に地域貢献活動をしていきたいとお考えですか。

① はい	4
② 難しい	2 (意見) 現状の人員では維持が精いっぱい

問9. 問8で「はい」とご回答された場合、改めて追加ヒアリングをさせていただきたいと考えていますが、可能ですか。

① はい	3
② いいえ	0

地域と社会福祉施設・社会福祉関係事業者との協働に関する調査結果 (NPO法人)

問1. 貴法人は、地域住民あるいは地域団体に対し、地域貢献活動を行っておられますか。

①計画通り実施できている。	4
②計画通り実施できていない。	0
③検討中	0

問2. 貴法人はどのような地域貢献活動に取り組んでいますか。

①ボランティアの受け入れ	・7名受け入れ ・子ども食堂や行事開催時
②地域のサロンや研修会等への協力・支援	・研修参加 ・認知症カフェ
③地域行事への協働開催	・地域イベント出典 ・地蔵盆の開催
④地域行事への資金援助・スタッフ派遣	・地域イベント出典 ・福祉まつりへの派遣 ・ふれあいまつり
⑤施設の一部開放・貸出	・コミュニティカフェ ・家族会への貸し出し ・コーラスサークル、大正琴
⑥備品の貸出	・災害時の大量調理機器保管、管理 ・ピアノ、琴等
⑦備品・資材等の保管場所の提供	・災害時の大量調理機器保管、管理 ・ピアノ、琴等
⑧その他	・福祉施設への喫茶提供

問3. (問1で②③と回答された場合) 貴法人は、どのような地域貢献活動に取り組もうと検討されていますか。()内に具体的内容もご記入ください。

①ボランティアの受け入れ	・営繕、ドライバー、農園など
②地域のサロンや研修会等への協力・支援	・コーラス
③地域行事への協働開催	
④地域行事への資金援助・スタッフ派遣	
⑤施設の一部開放・貸出	・カフェの拡充、認知度向上
⑥備品の貸出	
⑦備品・資材等の保管場所の提供	
⑧その他	

問4. 貴法人が、今後より地域貢献活動に取り組むために何が必要ですか。

①既に取り組んでいる他法人の内容等の情報	1
②取り組みについての研修会	1
③アドバイザーからの助言	1
④活動に専従できる人員	2
⑤財源	3
⑥地域団体とのネットワーク	3
⑦その他	0

問5. 貴法人は、地域貢献活動について職員に対しどのように示していますか。

①法人の理念・目標にしている	2
②事業計画にしている	1
③担当部署・職員を配置している	1
④所属長等から積極的参加を呼び掛けている	1
⑤地域への感謝を伝えている	2
⑥職員の評価項目に加えている	0
⑦広報紙やHPに掲載している	2
⑧職員への説明会・研修会をしている	0
⑨その他	・雇い入れを行っていない

問6. 新型コロナウイルス感染症まん延以降、地域貢献活動はどのように変化しましたか。

① コロナ前の状況を継続した。	0
② コロナ前の状況より減少した。	4
③ コロナ前の状況より増加した。	0
④ その他	0

問7. 地域との協働に取り組む上で、市社協に期待することやご意見がございましたらご記入ください。

・コロナ前と同様にイベント実施などを行う
 ・市社協の職員の方々と介護事業者との意見交換や親睦の機会をもって福祉の連携を計れればと思います。

地域と社会福祉関係当事者団体との協働に関する調査

問1. 地域住民・地域団体あるいは市内の関係団体との交流や協働した活動を行っていますか。

①行っている	4
②行う予定・検討中	1
③行っていない	1

問2. (問1で①と回答された場合)どのような団体等と交流・協働していますか。

()内に具体的な内容もご記入ください。

①地域内自治会	一部の単位クラブで協働している。
②校区社会福祉協議会	
③(市・地区)民生児童委員協議会	学習会、交流会
④ボランティアグループ	
⑤社会福祉施設・NPO	寺田コミセン、福祉センター、ひとり親家庭
⑥市民活動団体・自主活動サークル	
⑦その他	視覚障がい者、難聴者、ろうあ者等市内の関係団体

問3. (問1で②と回答された場合)どのような団体等と交流・協働を検討されていますか。

()内に具体的な内容もご記入ください。

①地域内自治会	
②校区社会福祉協議会	
③(市・地区)民生児童委員協議会	
④ボランティアグループ	
⑤社会福祉施設・NPO	
⑥市民活動団体・自主活動サークル	
⑦その他	地域包括支援センター

問4. (問1で③と回答された場合)地域の団体などとの交流・協働していない理由は何ですか。

①必要性を感じない	
②地域の理解があまりない	
③何をすればよいかわからない	
④その他	連合会としての事業が主体で、基本的に他の団体との協働はない。ただし、それぞれの事業に自主活動サークルの協力を得ている場合がある。

問5. 貴団体の活動は、地域の住民に広く理解と支援が得られていると感じますか。その理由についても教えてください。

①感じている	0
②あまり感じない	0
③感じない	2
④分からない	1

問6. 貴団体の活動に対して、どうすれば地域の住民に広く理解と支援が得られると思いますか。ご意見がございましたらご記入ください。

・ふれあいまつりポスター展示等でPRしていただき感謝している

問7. 貴団体が活動している中で困っていることはありますか。

①会員の減少(高齢化含む)	4
②役員の手が足りない	4
③財源が不足	1
④活動のマンネリ化	2
⑤支援してくれる組織がない(少ない)	0
⑥その他	0

問8. 新型コロナウイルス感染症まん延以降地域との交流・協働はどのようにされましたか。

① コロナ前の状況を継続した。	0
② コロナ前の状況より減少した。	5
③ コロナ前の状況より増加した。	0
④ その他	0

問9. コロナ禍を経験し、貴団体として途絶えさせてはならないと思われるものはなんですか。

・会員の孤立。可能な範囲で行事を実施し、直接的なふれあいの場や社会参加を心掛けた

問10. 地域で活動する上で、市社協に期待することやご意見がございましたらご記入ください。

・福祉まつりお疲れさまでした。一般の方にも広報で周知したほうがよいのでは。
・会場やバスを借りられて感謝している。早く飲食できるようになってほしい。ふれあい号にカーナビをつけてほしい。